P-07C

ISSUE DATE: '11.8

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

クイックスタートガイド

目次／注意事項

ご使用前の確認

初期設定

電話

各種設定

メール／インターネット

マルチメディア

付録

はじめに

「P-07C」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA端末のご使用にあたって

- P-07Cは、W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

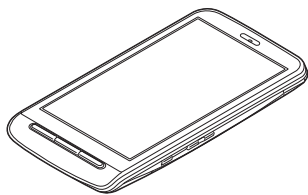
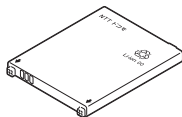
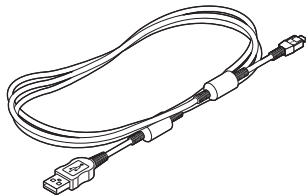
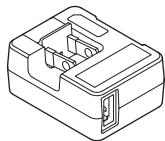
SIMロック解除

本FOMA端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

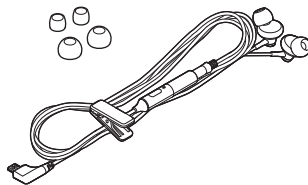
本体付属品／試供品

■ 本体付属品

- P-07C本体
（保証書、リアカバー P52）

- 電池パック P24

- ACアダプタケーブル P01（保証書付き）
＜ACアダプタ＞　＜microUSBケーブル＞

- クイックスタートガイド

■ 試供品

- ステレオイヤホンマイク（取扱説明書付き）

- microSDカード（2GB）
（取扱説明書付き）

※お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

- その他オプション品については☞P.59

操作説明について

P-07Cの操作は、以下の方法で説明しています。

■「クイックスタートガイド」(本書)

基本的な機能の操作について説明しています。

■[取扱説明書](本FOMA端末のアプリケーション)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ホーム画面▶[プリインストール]▶[取扱説明書]

- はじめてご利用される際には、本アプリケーションをAndroidマーケットからインストールする必要があります。

■「取扱説明書」(PDFファイル)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。
ドコモのホームページでダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

お知らせ

- 本書の本文中においては、「P-07C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の操作説明は、ホームアプリを["タッチスピードセレクター"]に設定した操作で説明しています。ホームアプリを変更した場合は、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書に記載している画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書では、操作手順のボタンを簡略したデザインで表現しています。

P-07Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモードのサイト(番組)への接続、ｉアプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード(ドライブモード)には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の動作音声(カメラのシャッター音など)は消音されません。
- お客様の電話番号(オーナー情報)の確認については☞P.48
- ご利用のFOMA端末のソフトウェアバージョンについては☞P.54
- 本FOMA端末は、オペレーティングシステム(OS)のバージョンアップにより機能が追加されたり、操作方法が変更になることがあります。機能の追加や操作方法の変更などに関する最新情報は、ドコモのホームページでご確認ください。
- OSをバージョンアップすると、古いバージョンのOSで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。またその他のウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスやFacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットA以外のプロバイダはサポートしておりません。
- microSDカードを挿入しなくても本FOMA端末をお使いいただくことはできますが、カメラで撮影した画像やボイスレコーダで録音した音声など、microSDカードにしか保存できないデータがございます。
このため、本FOMA端末をご利用になるときは、microSDカードを挿入することをおすすめします。
- テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
パケット定額サービスご加入の場合、パケット通信料は、「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。なお、テザリングを有効にした場合、外部機器が接続されていない状態でも、すべてのパケット通信が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。
外部機器での通信が終了次第、必ずテザリングを無効にしてください。
- FOMA定額データプランでテザリングをご利用の場合は、月額利用料金上限額でご利用になれます。
- テザリングを有効にした状態では、インターネット接続・メールサービス以外のspモードの機能をご利用になれません。
- テザリングを利用してインターネットに接続した場合、ご利用の環境によっては外部機器においてアプリケーション(ブラウジング・ゲームなど)が正常に動作しない場合があります。
- Wi-Fiテザリングの初期設定では、外部機器とスマートフォン・タブレット間でパスワードなどのセキュリティは設定されていません。任意のパスワードなどの設定をおすすめします。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。

目次

本体付属品／試供品 ... 1
操作説明について ... 2
P-07Cのご利用にあたっての注意事項 ... 2
安全上のご注意 ... 4
取り扱い上のご注意 ... 12

ご使用前の確認 16

各部の名称と機能 ... 16
ドコモUIMカード ... 18
microSDカード ... 19
電池パック ... 20
充電 ... 21
電源 ... 22
基本操作（タッチパネルの使いかた） ... 23
画面表示／アイコン ... 24
ホーム画面 ... 27
アプリケーション画面 ... 28
Androidマーケット ... 33
ドコモマーケットを利用する ... 34
文字入力 ... 35
ロック／セキュリティ ... 37

初期設定 41

初期設定 ... 41
Googleアカウント ... 41
アクセスポイントを設定する ... 41
Eメール設定 ... 43
電話帳コピーツール ... 43
Wi-Fi ... 44
オンラインサービスのアカウント ... 45

電話 46

電話 ... 46
通話履歴 ... 48
電話帳 ... 48

各種設定 49

設定メニュー ... 49

メール／インターネット 55

Eメール ... 55
spモードメール ... 55
Gmail ... 55
SMS ... 55
緊急速報「エリアメール」 ... 56
ウェブブラウザ ... 56

マルチメディア 57

カメラ ... 57
ピクチャアルバム ... 57
ミュージックプレーヤー ... 57
ワンセグ ... 58

付録 59

オプション・関連機器のご紹介 ... 59
トラブルシューティング（FAQ） ... 59
保証とアフターサービス ... 61
ソフトウェア更新 ... 63
携帯電話機の比吸収率（SAR） ... 69
Handling Precautions ... 69
European RF Exposure Information ... 70
Declaration of Conformity ... 70
FCC Notice ... 70
FCC RF Exposure Information ... 70
Important Safety Information ... 71
輸出管理規制 ... 71
知的財産権 ... 72
Quick Manual (English) ... 74
索引 ... 80

安全上のご注意　必ずお守りください

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

	危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の6項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、ACアダプタケーブル、ドコモUIMカードの取り扱いについて<共通> P.5
FOMA端末の取り扱いについて P.6
電池パックの取り扱いについて P.8
ACアダプタケーブルの取り扱いについて P.9
ドコモUIMカードの取り扱いについて P.10
医用電気機器近くでの取り扱いについて P.10

FOMA端末、電池パック、ACアダプタケーブル、ドコモUIMカードの取り扱いについて<共通>

危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびACアダプタケーブルは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

FOMA端末の外部接続端子や、ACアダプタケーブルのプラグや端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指 示

FOMA端末をACアダプタケーブルに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらワンセグ視聴などを長時間行うとFOMA端末や電池パック･ACアダプタケーブルの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

警告

禁 止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁 止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁 止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁 止

FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁 止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。

運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指 示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指 示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指 示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指 示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

アンテナを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、FOMA端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

ディスプレイの表面には、落下や衝撃などにより破損した場合の安全性確保（強化ガラスパネルの飛散防止）を目的とする保護フィルムがあります。このフィルムは無理にはがしたり、傷つけたりしないでください。

フィルムをはがして使用した場合、ディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質については☞P.11「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

ACアダプタケーブルの取り扱いについて

危険

禁止

付属のmicroUSBケーブル以外を接続しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

警告

禁止

microUSBケーブルが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプタケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態でACアダプタケーブルのプラグや端子をショートさせないでください。また、プラグや端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

microUSBケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でACアダプタケーブル、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
AC100V〜240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、ACアダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱いについて

注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)に準ずる。

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■ 材質一覧

使用箇所		材質／表面処理
外装ケース	ディスプレイ面、リアカバー側の側面、電池面	ABS／UV塗装
	ディスプレイ側の側面	PC＋ABS／UV塗装
	リアカバー	PC／UV塗装
外部接続端子	樹脂部分	PBT＋PC
	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ、スズメッキ
外部接続端子カバー		PC、エラストマ／UV塗装
カメラレンズ部		PMMA／表面ハードコート
クッション（リアカバー裏面）		ウレタン
検索ボタン、音量ボタン、赤外線ポート部、フラッシュ部、電源ボタン		PC／UV塗装
ディスプレイパネル		ガラス、PET／表面ハードコート
電池収納面		ガラスエポキシ基板
電池端子	樹脂部分	PPS
	端子部	ベリリウム銅／ニッケルメッキ、金メッキ
電池パック	樹脂部分	PC
	ラベル	PET
	端子部	ガラスエポキシ基板／ニッケルメッキ、金メッキ
ドコモUIMカードトレイ		POM
ネジ	リアカバー内（4隅）	鉄／ニッケルメッキ
	リアカバー内（4隅以外）	鉄／クロムメッキ
メニューボタン、ホームボタン、バックボタン		PC／アルミ蒸着、UV塗装
ラベル（電池収納面）		ポリエステル
ラベル（電池面）		PC
ワンセグアンテナ	先端樹脂部分	ABS／UV塗装
	金属部分（スリーブ部）	カドミウムレス黄銅／クロムメッキ
	金属部分（パイプ部）	ステンレス鋼
	金属部分（ワイヤ部）	ニッケルチタン合金
	根元ヒンジ部（リフトアップ部）	ステンレス鋼／クロムメッキ
	根元ヒンジ部（ワイヤ結合部、ピン）	ステンレス鋼／ニッケルメッキ
	ホルダ部	亜鉛合金／ニッケルメッキ
	収納部	PA
microSDカード挿入口	樹脂部分	LCP
	金属部分	ステンレス鋼／ニッケルメッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■水をかけないでください。
FOMA端末、電池パック、ACアダプタケーブル、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■電池パック、ACアダプタケーブルに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

■タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常は外部接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
・フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
・電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管
電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

ACアダプタケーブルについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、ACアダプタケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■他のICカードリーダー/ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、オブジェクトプッシュを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。（対応しているBluetooth機器のみ）

■周波数帯について
FOMA端末のBluetooth機能が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH　：変調方式がFH-SS方式であることを示します。

1　　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

□□□：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によってはBluetoothの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. **本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。**
2. **万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。**
3. **その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。**

無線LAN(WLAN)についてのお願い

■無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■周波数帯について
WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 DS/OF 4
□□□

2.4　　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

DS/OF：変調方式がDS-SS方式、OFDM方式であることを示します。

4　　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

□□□：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。
ご利用の国によっては無線LANの使用が制限されている場合があります。その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

注意

■改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。

FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

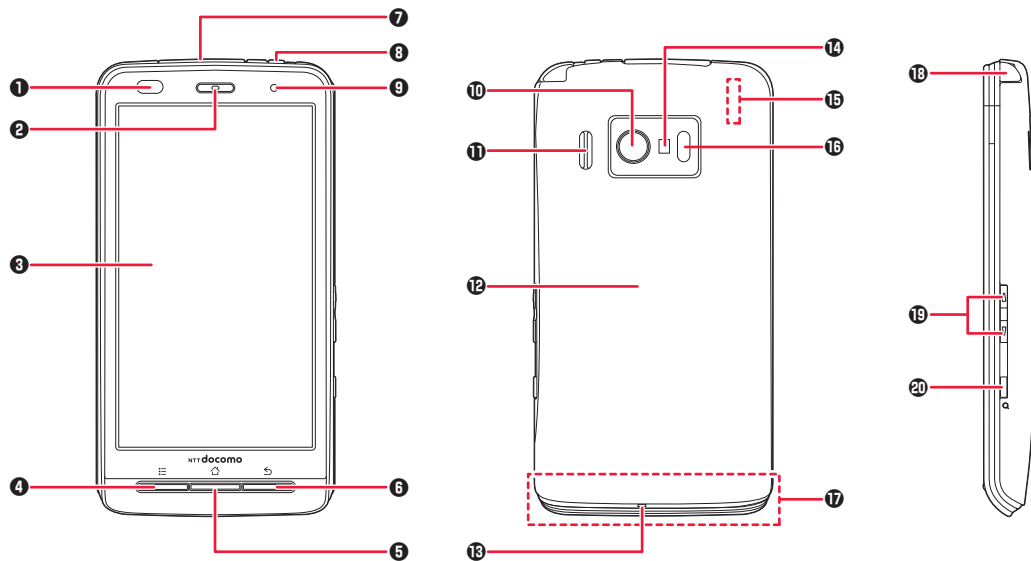
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

	名称	説明
❶	光センサー	周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動調節します。明るさを検知するために、センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。
	近接センサー	通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーです。近接センサー部分に保護シートやシールなどを貼り付けると、近接センサーが誤動作する場合があります。
❷	受話口	相手の声がここから聞こえます。
❸	ディスプレイ（タッチパネル）	指でなぞって画面をスクロールしたり、項目をタップして選択します（☞P.23）。
❹	☰メニューボタン	現在の画面で使用できるオプションメニューを表示します。
❺	⌂ホームボタン	ホーム画面に戻ります（☞P.27）。 長く押して最近使用したアプリケーションを表示します（☞P.33）。
❻	↩バックボタン	直前の画面に戻ります。
❼	外部接続端子	充電時に付属のmicroUSBケーブルを接続したり、付属のステレオイヤホンマイクを接続したりします。
❽	⏻電源ボタン	長く押して電源をオンにします（☞P.22）。 電源がオンのときに、マナーモード、機内モードの設定／解除や、電源オフの操作をします。 スリープモードを設定／解除します（☞P.22）。

	名称	説明
❾	着信／充電ランプ	• 電話やメールの着信時などに点滅します。 • 充電中に点灯します。
❿	カメラ	静止画や動画を撮影します（☞P.57）。
⓫	スピーカー	着信音や音楽の再生音、ハンズフリー通話時に相手の声が聞こえます。
⓬	リアカバー	―
⓭	送話口	自分の声をここから送ります。録音するときはマイクになります。
⓮	フラッシュ	カメラ撮影時に点灯します。
⓯	GPSアンテナ	アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⓰	赤外線ポート	赤外線通信に使用します。
⓱	FOMAアンテナ	アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。
⓲	ワンセグアンテナ	ワンセグを視聴するときに伸ばします。
⓳	▲／▼音量ボタン	相手の声やスピーカーの音量を調節します。
⓴	🔍検索ボタン	クイック検索ボックスを起動します（☞P.28）。 長く押して音声検索を起動します。

ドコモUIMカード

ドコモUIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。ドコモUIMカードが取り付けられていないと、FOMA端末で電話の発着信やメールの送受信、データ通信などの通信が利用できません。

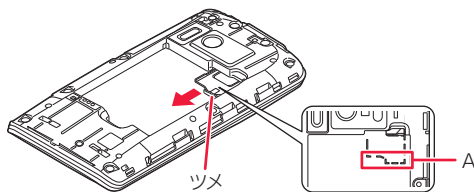
- 本FOMA端末では、ドコモUIMカード(青色)はご使用になれません。ドコモUIMカード(青色)をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモUIMカードについて詳しくは、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

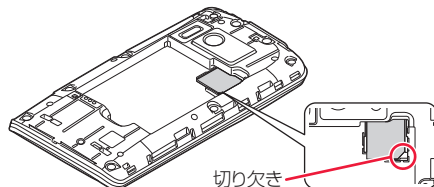
ドコモUIMカードの取り付け/取り外し

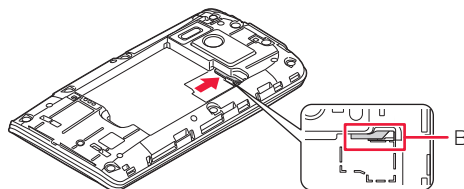
- ドコモUIMカードの取り付け/取り外しは、FOMA端末の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください(☞P.20)。
- ドコモUIMカードを取り扱うときは、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、ドコモUIMカードを無理に取り付けたり取り外そうとすると、ドコモUIMカードが壊れることがありますのでご注意ください。

ドコモUIMカードを取り付ける

1 ツメの部分を引いてトレイを引き出す

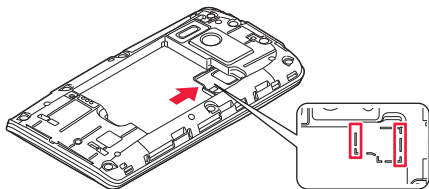
- Aのラインまで引き出してください。

2 金色のIC面を下にしてドコモUIMカードをトレイにのせる

- ドコモUIMカードの切り欠き部分をトレイに合わせてください。

3 トレイを奥に押し込む

- Bのラインまで確実に押し込んでください。

ドコモUIMカードを取り外す

1 P.18「ドコモUIMカードを取り付ける」手順1に従ってトレイを引き出し、ドコモUIMカードを取り出す

トレイが外れたときは

1 **トレイを電池面のラインに合わせてからまっすぐ押し込んでください**

microSDカード

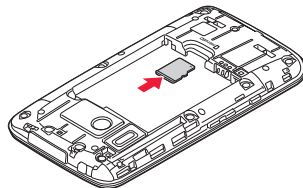
- 本FOMA端末は、2GBまでのmicroSDカードと32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています(2011年8月現在)。
microSDカードの製造メーカーや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。掲載されているmicroSDカード以外については、各microSDカードの製造メーカーへお問い合わせください。
http://panasonic.jp/mobile/
なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け/取り外し

- microSDカードの取り付け/取り外しは、FOMA端末の電源を切り、電池パックを取り外してから行ってください(☞P.20)。

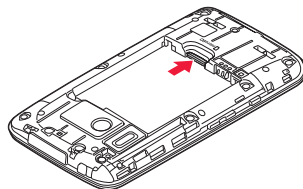
microSDカードを取り付ける

1 **金属端子面を下にして、図の向きでmicroSDカード挿入口にロックするまで差し込む**

- 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

microSDカードを取り外す

- microSDカードを取り外すとき、microSDカードがFOMA端末から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

1 **microSDカードを軽く押し込む**

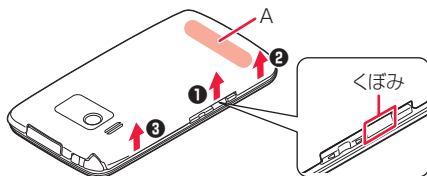
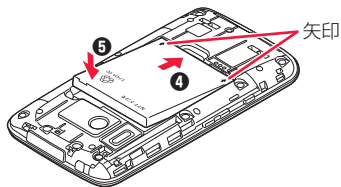
microSDカードが少し出ます。

2 **microSDカードをまっすぐ引き出す**

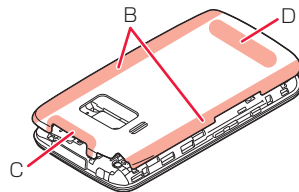
電池パック

電池パックの取り付け／取り外し

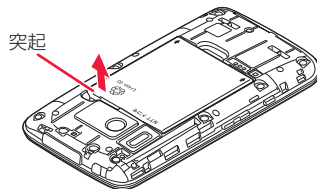
- 電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行ってください。

電池パックを取り付ける

1 音量ボタンと検索ボタンの間のくぼみに指先をかけて、リアカバーを❶の方向へ持ち上げたあと、❷の方向へAの部分が外れるまで持ち上げ、❸の方向へ持ち上げて取り外す

2 矢印面を上にして、FOMA端末と電池パックのツメ側を確実に合わせ、❹の方向に押し付けながら、❺の方向に押し込む

3 リアカバーの向きを確認して本体に合わせるように装着したあと、本体両側（Bの部分）をしっかりと押し、上部（Cの部分）と下部（Dの部分）をしっかりと押して取り付ける

- 本体とリアカバーの間に隙間がないことを確認してください。

電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外す（☞P.20「電池パックを取り付ける」手順1）

2 電池パックの突起を利用して、矢印の方向に持ち上げる

充電

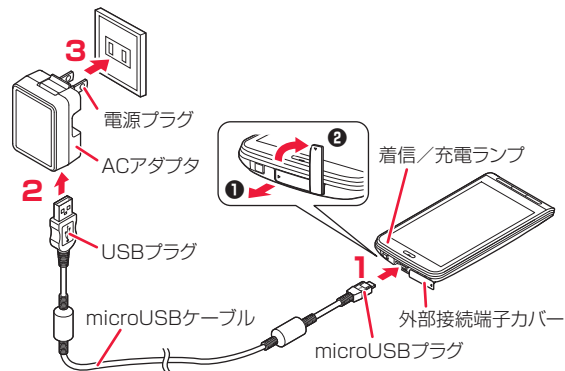
■ 充電時のご注意

- 付属のACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。海外で利用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- FOMA端末を使用しながら充電すると、充電が完了するまで時間がかかったり、充電が完了しなかったりすることがあります。また、データ通信や通話など消費電流の大きい機能を連続して使用すると、充電中でも電池が減り続け、電池切れに至る場合があります。
- 電池切れの状態で充電を開始した場合、電源を入れてもすぐに起動しないことがあります。その場合は、FOMA端末の電源を切ったまま充電し、しばらくしてから電源を入れてください。
- ステータスバーに温度異常アイコンが表示されたときは、通知パネルを開いて表示された機能が使用できません。
- ステータスバーに充電異常アイコンが表示されたときは、通知パネルを開き、対処方法に従って操作してください。
- 充電したままFOMA端末を長時間おくと、充電が終わったあとFOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池切れの警告が表示されてしまうことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を開始してください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタケーブルから外して再度セットし直してください。

■ 電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。
- 充電しながらワンセグの視聴などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

ACアダプタケーブルを使って充電する

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグを、USBマーク※1を上にして外部接続端子に水平に差し込む

- 外部接続端子カバーは、❶の方向に引っ張り出したあと、❷の方向に回転させます。

2 microUSBケーブルのUSBプラグを、USBマーク※1を手前にしてACアダプタのUSBコネクタに水平に差し込む

3 ACアダプタの電源プラグを起こし、家庭用などのAC100Vのコンセントへ差し込む

4 **充電が完了したら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く**

5 **microUSBケーブルをACアダプタとFOMA端末から抜く**

※1 USBマーク：

■ 充電中・充電完了時の表示について

●FOMA端末の電源が入っている場合

	着信／充電ランプ	電池アイコン
充電中	充電量によって、以下のように点灯します。 89%以下：赤色 90%以上：緑色	現在の電池レベルからレベル6までを切り替えながら表示します。 レベル6 レベル5 レベル4 レベル3 レベル2 レベル1
充電完了	緑色で点灯	

●FOMA端末の電源が切れている場合

	着信／充電ランプ
充電中	赤色で点灯
充電完了	消灯

- FOMA端末の電源を切っているときは、電池アイコンは表示されません。電池が切れた状態で充電を開始すると、着信／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電自体は開始されています。もし、充電開始後に着信／充電ランプが長時間点灯しない場合は、FOMA端末から電池パックを一度外し、再度取り付けてから充電をやり直してください。再び同じ動作をする場合はACアダプタや電池パックの異常や故障が考えられますので、ドコモショップなど窓口までご相談ください。

■ 電池が切れそうになると

電池が切れそうになると、充電を促すメッセージが表示されます。電池残量がさらに少なくなると、着信／充電ランプがゆっくりと赤く点滅します。電池残量がなくなると、電源を切る旨のメッセージが表示され、電源が切れます。

パソコンを使って充電する

FOMA端末とパソコンを付属のmicroUSBケーブルで接続すると、FOMA端末をパソコンから充電することができます。

電源

電源を入れる

1 **を2秒以上押す**

しばらくすると、ロック画面が表示されます。

電源を切る

1 **携帯電話オプションメニューが表示されるまで、を押したままにする**

2 **[電源を切る]▶[OK]**

- 電源を切る際に時間がかかる場合がありますが、そのまましばらくお待ちください。

ディスプレイの表示が消えたら

FOMA端末を一定時間操作しなかったときは、自動的にディスプレイの表示が消えてスリープモードになります。

1 ／

スリープモードが解除され、ロック画面が表示されます。

- 手動でスリープモードにする場合は、ディスプレイ表示中にを押します。

ロック画面を解除する

1 画面右からのガイド(右の画面に示す実線部分)に沿って左下にドラッグ

- 左手でお使いの場合には、画面左からのガイド(右の画面に示す点線部分)に沿って右下にドラッグします。
- ロック画面を解除すると、解除した利き手方向が認識され、ホーム画面、Future Plus、電話帳、ワンセグの選局画面に反映されます。ロック画面以外は、利き手設定(☞P.51)で右利き／左利きに設定することができます。

ロック画面

基本操作(タッチパネルの使いかた)

タッチパネルの操作

本FOMA端末のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- お買い上げ時にタッチパネルに貼られているシートをはがしてからお使いください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの(爪／ボールペン／ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - ・手袋をしたままでの操作
  - ・爪の先での操作
  - ・異物を操作面に乗せたままでの操作
  - ・保護シートやシールなどを貼っての操作

■ タップする

画面の項目やアイコンをトンとたたいて選択します。

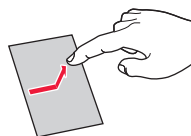
■ ダブルタップする

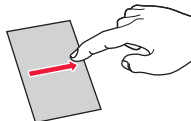
ウェブページを拡大したいときにすばやく2回続けてタップします。再度ダブルタップすると縮小します。

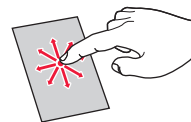
■ ロングタッチする

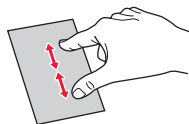
画面の項目やアイコンを指で押さえたままにします。ポップアップメニューなどを表示する場合に使います。

■ フリックする

複数のページやデータがあるときに画面を左右にすばやくはらうように触れると、前後の画面に切り替わります。

■ ドラッグする

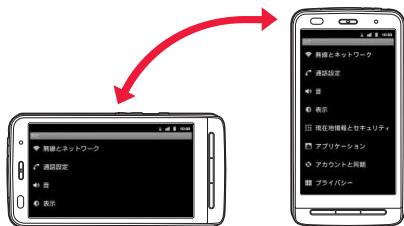
画面の項目やアイコンを指で押さえながら移動します。

■ スクロールする

画面を上下左右方向になぞって、隠れている部分を表示します。

■ ピンチする(広げる・狭める)

ウェブページや静止画などの表示中に、画面を2本の指で広げる(ピンチアウト)と拡大し、つまむ(ピンチイン)と縮小します。

お知らせ

- 回転操作、3つ以上のタッチポイントでの操作など一部のマルチタッチ操作に対応しておりません。

縦／横画面表示を切り替える

FOMA端末の向きや動きを検知するモーションセンサーによって、FOMA端末を縦または横に持ち替えて、画面表示を切り替えることができます。

お知らせ

- FOMA端末を垂直に近い状態で操作してください。水平に寝かせると向きや動きの変化を正しく検知できず、画面表示が切り替わらない場合があります。
- 表示中の画面によっては、FOMA端末の向きを変えても画面表示が切り替わらない場合があります。

画面表示／アイコン

アイコンの見かた

ステータスバーにはFOMA端末の状態を示すアイコンが表示されます。ステータスバーの左側には通知アイコン、右側にはステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

■ 主な通知アイコン

アイコン	説明	参照先
	新着Gmail	P.55
	新着Eメール	P.55
	新着spモードメール	P.55
	新着SMS	P.55
	SMSの送信失敗	P.55
	未読エリアメール	P.56
	留守番メッセージ	－
	新着インスタントメッセージ	－
	カレンダーの予定	－
	楽曲再生中	P.57
	ボイスレコーダ録音／再生中	－
	Wi-Fiのオープンネットワークが利用可能	P.44
	Bluetooth通信でファイル着信	P.49

アイコン	説明	参照先
	VPNの接続／切断	P.49
	USB接続中	P.22
	USBテザリング利用中	P.49
	Wi-Fiテザリング利用中	P.49
	USBテザリングとWi-Fiテザリング利用中	P.49
	エラーメッセージ	－
	通話中	P.46
	不在着信	P.48
	通話保留中	－
	データのアップロード	－
	データのダウンロード	－
	Androidマーケットなどからのアプリケーションがインストール完了	P.33
	Androidマーケットのアプリケーションがアップデート可能	P.33
	非表示の通知あり	P.26
	microSDカードのマウント解除	P.53
	ワンセグ通知	P.58
	データ放送のセキュリティ保護ページに接続中	－
	ecoモード中	－
	タスク管理通知	－

アイコン	説明	参照先
	温度異常	P.21
	充電異常	P.21
	現在地取得エラー（知りたい情報の取得失敗）	－
	通信不可（知りたい情報の取得失敗）	－
	通信エラー（知りたい情報の取得失敗）	－
	終電アラームセット	－

■ 主なステータスアイコン

アイコン	説明	参照先
※1	電波状態	－
※1	ローミング中	－
	圏外	－
※1	GPRS接続中	－
※1	GPRS使用中	－
※1	EDGE接続中	－
※1	EDGE使用中	－
※1	3G（パケット）接続中	－
※1	3G（パケット）使用中	－
	機内モード	P.49
※1	Wi-Fi接続中	P.44

アイコン	説明	参照先
	Bluetooth機能オン	P.49
	Bluetooth機器接続中	P.49
	データ同期中	P.52
	ドコモUIMカード未挿入	P.18
	アラーム設定中	－
	スピーカーフォン オン	－
	マイク ミュート	－
	マナーモード(バイブ オン)	P.50
	マナーモード(バイブ オフ)	P.46
	要充電	P.21
	電池残量が少ない	P.21
	電池残量十分	P.21
	充電中	P.21
	GPS測位中	P.51

※1 ネットワークのアイコンは、Googleアカウントを設定していない場合や、アカウントと同期の設定の[バックグラウンドデータ]をオフにしている場合など、白色で表示されます。

通知パネル

通知アイコンが表示されたら、通知パネルを開いてメッセージや予定などの通知を確認できます。

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグ

- 通知をタップすると、詳細を確認したり必要な設定を行ったりすることができます。
- [通知を消去]をタップすると、通知パネル内の表示が消去されます。ただし、通知内容によっては消去できない場合があります。

通知パネルを閉じる

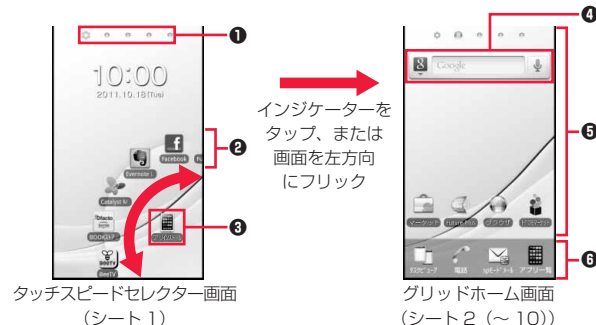
1 通知パネル下のバーを上にドラッグ、または

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面で、[⌂]を押すと表示されます。

ホームアプリには、"タッチスピードセレクター"、docomo Palette UI、ランチャーの3種類があります。ここでは"タッチスピードセレクター"の操作を説明します。"タッチスピードセレクター"には、タッチスピードセレクター画面とグリッドホーム画面があります。

タッチスピードセレクター画面（シート１）

グリッドホーム画面（シート２（～10））

❶ インジケーター
ホーム画面の現在位置が表示されます。シート1にタッチスピードセレクター画面、お買い上げ時はシート2～シート5にグリッドホーム画面が表示され、インジケーターをタップするか、画面を左右にフリックして切り替えられます。

❷ タッチスピードセレクター
グリッドホーム画面に配置されているアプリケーションのショートカットとフォルダのアイコンが表示されます。
左の画面に示す矢印に沿ってフリックし、ショートカットをタップして起動します。フォルダをタップしたときは、2階層目のアイコンが表示されます。

❸ 1階層目の選択アイコン
タッチスピードセレクターには2階層目のアイコンが表示されます。1階層目の選択アイコンをタップすると、タッチスピードセレクターは1階層目に戻ります。

❹ クイック検索ボックス（☞P.28）

❺ すべてのグリッドホーム画面にショートカットやウィジェット、フォルダを自由に配置できます。

❻ すべてのグリッドホーム画面に表示され、タスクビューア、電話、spモードメールを起動したり、アプリケーション一覧画面を表示します。

■ New!アイコンについて

New!アイコンとは、新規に購入（ダウンロード）したアプリケーションを通知するマークのことで、タッチスピードセレクター画面やグリッドホーム画面、アプリケーション一覧画面の新規アプリケーションの上に New! が表示されます。New! はアプリケーションを起動すると消去されます。

グリッドホーム画面にショートカットを追加する

1 **グリッドホーム画面▶背景部分をロングタッチ**

2 **[ショートカット]／[ウィジェット]／[フォルダ]**

3 **追加したいショートカットなどを選択**

4 **グリッドホーム画面に追加されたショートカットなどをロングタッチして、配置したい場所にドラッグ**

フォルダ名を変更する

1 **フォルダをタップ▶タイトルバーをロングタッチ**

2 **フォルダ名を入力▶[OK]**

ショートカットを削除する

1 **グリッドホーム画面▶削除したいショートカットなどをロングタッチして、🗑にドラッグ**

グリッドホーム画面を追加する

グリッドホーム画面は最大9シートまで追加できます。

1 **右端のグリッドホーム画面▶ショートカットなどをロングタッチして、画面の右端までドラッグ**

右端にグリッドホーム画面が追加され、ショートカットが移動します。

- 追加したグリッドホーム画面のうち、右端のグリッドホーム画面のショートカットなどをすべて削除すると、そのグリッドホーム画面も削除されます。

ホーム画面の壁紙を変更する

1 **ホーム画面▶背景部分をロングタッチ▶[壁紙]**

2 **壁紙の種類をタップ▶画像を選択**

- [壁紙ピクチャアルバム]の画像を選択した場合は、トリミングを行ったあと✓をタップして設定完了です。

3 **[壁紙に設定]**

FOMA端末のアプリやウェブページの情報を検索する

1 **ホーム画面▶🔍**

- グリッドホーム画面(シート2)でクイック検索ボックスの入力欄をタップしても操作できます。
- ☰▶[検索設定]をタップすると、検索対象の種類や設定を変更できます。

2 **8▶検索対象をタップ▶キーワードを入力**

入力中の文字を含む検索候補が表示されます。

3 **→**

ホームアプリを切り替える

1 **ホーム画面▶[プリインストール]▶[ホーム切替]▶[設定変更]**

2 **[設定を消去]▶⌂**

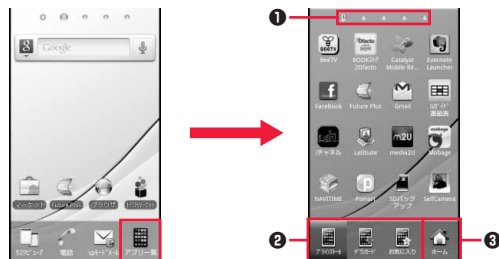
3 **[常にこの操作で使用する]にチェックを付ける**

4 **利用したいホームアプリをタップ**

アプリケーション画面

アプリケーション一覧画面を表示する

アプリケーション一覧画面は、プリインストール、ダウンロード、お気に入りの3種類のカテゴリで表示されます。

1 グリッドホーム画面▶[アプリ一覧]

❶ インジケーター
各カテゴリのアプリケーション一覧の現在位置が表示されます。インジケーターをタップするか、画面を左右にフリックして切り替えられます。

❷ 各カテゴリのアプリケーション一覧を表示します。

❸ 直前のグリッドホーム画面に戻ります。

アプリケーションを移動する

1 対象のアプリケーションをロングタッチして、移動したいカテゴリアイコン([プリインストール]／[ダウンロード]／[お気に入り])にドラッグ

- 対象のアプリケーションをロングタッチして画面の左右の端までドラッグしても、前後のページに移動できます。
- アプリケーションをロングタッチして画面上部の🏠にドラッグすると、グリッドホーム画面にショートカットを追加できます。

2 アプリケーションをロングタッチして、配置したい場所にドラッグ

アプリケーション一覧

お買い上げ時に搭載されている[プリインストール]アプリケーションの一覧です。

- [プリインストール]アプリケーションの初回使用時、Androidマーケットまたはドコモマーケットからのアプリケーションのインストールが必要となる場合があります。
- アプリケーションによっては、microSDカードを挿入していないと動作しないものがあります。microSDカードを挿入してご利用ください。

アイコン	アプリケーション	概要
	BeeTV	BeeTVは、ケータイ専用の放送局です。有料会員登録を行うと、BeeTV内の全番組を視聴できます。
	BOOKストア 2Dfacto	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入、閲覧できる電子書籍ストアです。
	Catalyst Mobile Reader	OfficeドキュメントやPDFファイルの閲覧ができます。
	Evernote	EvernoteはWebサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、様々な情報をサーバーに保存し、必要なときに検索･閲覧できるサービスです。情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。 • 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。
	Facebook	Facebookにログインして、ニュースフィードのチェックや投稿、メッセージの送受信、写真の共有などができます。
	Future Plus	知りたい情報やTwitterなどの更新情報、新着SMS、spモードメールなどを、同じ画面から確認できます。

アイコン	アプリケーション	概要
	Gmail	Googleアカウントのメールを送受信できます（☞P.55）。
	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。 キーワードやジャンルによる番組検索も可能です。
	ｉチャネル	天気やニュースなど様々な情報を配信します。自動的に受信した最新の情報が待受画面のウィジェット上に表示されます。 ｉチャネルはお申し込みが必要な有料サービスです。
	Latitude	地図上で友人と位置を確認しあうことができます。
	media2U	音楽･動画のダウンロード、再生ができます。
	Mobage	大人気ゲームを楽しめるMobage（モバゲー）のアプリです。
	NAVITIME	乗換案内や運行情報、地図検索などを利用できます。
	Psmart	メーカーサイトに接続して、コンテンツや情報が入手できます。
	SDバックアップ	電話帳、SMS、ブックマークをmicroSDカードへバックアップ、復元できます。
	SelfCamera	音声ガイダンスで自分撮りをサポートしてくれるアプリケーションです。
	spモードメール	ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます（☞P.55）。

アイコン	アプリケーション	概要
	Twitter	Twitterのクライアントアプリです。 サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。
	Twonky Mobile Special	スマートフォン内やインターネット上の動画･写真･音楽を、DLNA対応のTVやオーディオにワイヤレス再生することができます。 インターネット上のコンテンツをご利用になる場合には、インターネットへ接続可能なアクセスポイントが必要です。
	YouTube	YouTubeの動画の再生、投稿ができます。
	イネスシークレット	イネス･リグロン監修、女性の外見と内面を輝かせるためのアプリです。 レッスン映像、ワークブック、食事日記、体重管理機能で「美」を応援します。
	ウェザーニュースタッチ	全国の天気予報やライブ番組などを見ることができます。
	エコナビ	低消費電力モードに切り替えたり、スリープモード時のタスク管理を設定できます。
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです（☞P.56）。
	カメラ	静止画や動画を撮影します（☞P.57）。
	カレンダー	スケジュールを管理できます。

アイコン	アプリケーション	概要
	ぐるなび	エリア、料理のジャンル、予算などを入力して、飲食店を探すことができます。
	ジョルテ	スケジュール管理やToDo管理ができるシステム手帳アプリです。さまざまな表示形式が用意されており、Googleカレンダーとの同期もできます。
	ダウンロード	ウェブサイトからダウンロードしたファイルの一覧を表示します。
	タスクビューア	起動中のアプリケーションを確認、終了できます（☞P.33）。
	トーク	Googleトークを使用してチャットができます。
	ドコモマーケット	アプリも動画も探せるドコモマーケットにアクセスすることができます（☞P.34）。
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信の利用や海外パケット定額サービスの設定･確認をサポートします。
	トルカ	店舗情報やクーポン券などのトルカを表示、検索、更新ができます。
	とるキャラ	撮影した写真またはピクチャアルバムの静止画から絵文字を作成できます。
	ナビ	目的地への道案内を取得できます。
	ニュースと天気	気象情報やニュースを表示できます。
	バーコードリーダー	バーコードやQRコードをカメラで読み取ります。

アイコン	アプリケーション	概要
	ピクチャアルバム	静止画や動画を表示できます（☞P.57）。
	フィットキー	自分の手に合わせてキーパッドのサイズや位置を調節したり、キーパッドをデコレーションできます。
	ブラウザ	パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます（☞P.56）。
	プリプリまろんLite for P	写真を楽しくデコレーションできます。
	プレイス	近くにあるお店や施設をジャンル別に検索できます。
	ボイスダイヤル	相手の名前を話すだけで、電話帳を呼び出して電話をかけられます。
	ボイスレコーダ	音声を録音、再生します。
	ホーム切替	ホームアプリを切り替えることができます（☞P.28）。
	マーケット	Androidマーケットを利用できます（☞P.33）。
	マクドナルド	マクドナルドの会員向けクーポンや店舗検索機能が使えるアプリです。
	マップ	現在地を確認したり、場所や経路を検索したりできます。
	メール	パソコンなどとEメールの送受信ができます（☞P.55）。

アイコン	アプリケーション	概要
	メッセージ	SMSの送受信ができます(☞P.55)。
	メモ帳	メモを作成できます。
	メロディコール	電話をかけてきた相手に好みのメロディを聴かせるサービスです。メロディコールの楽曲試聴、購入、設定ができます。 メロディコールはお申し込みが必要な有料サービスです。
	レコチョク	音楽のダウンロード、再生ができます。
	ワンセグ	ワンセグを視聴できます(☞P.58)。
	音楽	音楽を再生します(☞P.57)。
	音声検索	ウェブページの情報を音声入力で検索します。
	楽天オークション	楽天オークションに出品されている、人気のファッションアイテムなどが簡単に検索できます。
	検索	FOMA端末のアプリやウェブページの情報を検索します(☞P.28)。
	時計	時刻と共に各種の情報やショートカットを表示したり、アラームを設定したりできます。
	取扱説明書	本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます(☞P.2)。
	書籍・コミック E★エブリスタ	プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザーの人気投稿作品まで、話題の電子書籍・コミックが閲覧できます。 プロ作家・有名人の作品閲覧は有料です。
	声の宅配便	声の宅配便は、電話でメッセージを録音し、録音されたことを相手にSMSで通知するサービスです。 本アプリを利用することで、簡単に声のメッセージを録音、再生することができます。
	赤外線	赤外線通信を利用してデータを受信できます。
	設定	FOMA端末の各種設定を行います(☞P.49)。
	地図アプリ	ドコモ地図ナビが提供する地図・ナビ・乗換などの機能で、お出かけをサポートするアプリです。 トライアル期間は無料で利用可能です。
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの計算ができます。
	電話	電話をかけることができます(☞P.46)。
	電話帳	電話帳の登録、管理ができます(☞P.48)。
	電話帳コピーツール	microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます(☞P.43)。

アイコン	アプリケーション	概要
	電話帳バックアップ	電話帳データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができ、FOMA端末の紛失時や誤って削除した際などにリストアできるサービスです。 • 電話帳バックアップの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。
	壁紙デコ	ホーム画面にスタンプを貼り付けたり、背景を変更したりできます。
	毎日新聞	毎日新聞社が提供する最新ニュースを閲覧できます。
	予約･録画	ワンセグの視聴や録画を予約できます。また、録画データを再生できます。

最近使用したアプリケーションを起動する

1 **［⌂］を1秒以上押す**

2 **起動したいアプリケーションをタップ**

起動中のアプリケーションを確認／終了する

1 **ホーム画面▶［タスクビューア］**

2 **アプリケーションを起動する場合**
起動したいアプリケーションのアイコンをタップ
1件のアプリケーションを終了する場合
終了したいアプリケーションの⊠をタップ
すべてのアプリケーションを終了する場合
［全ての機能を終了する］

Androidマーケット

Androidマーケットで便利なアプリケーションや楽しいゲームを探して、FOMA端末にインストールすることができます。

• あらかじめGoogleアカウント（☞P.41）を設定してください。

アプリケーションをインストールする

1 **ホーム画面▶［プリインストール］▶［マーケット］**

• 初回起動時はAndroidマーケット利用規約を読み、［同意する］をタップします。

2 **アプリケーションを検索**

3 **インストールしたいアプリケーションをタップ**

4 **［無料］（無料アプリケーションの場合）または金額欄（有料アプリケーションの場合）をタップ▶［OK］**

• 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。［OK］をタップすると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。
• 有料アプリケーションの支払いにはGoogle Checkoutを利用します。アプリケーションのダウンロード後、規定の時間以内であれば、返品して全額払い戻しを受けることができます（各アプリケーションにつき1回のみ）。アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Androidマーケットの画面で［☰］▶［ヘルプ］▶［アプリケーションの購入］の各項目をご覧ください。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染やデータの破壊などが起きる場合があります。また、音量が変わる場合がありますのでご注意ください。
- 万が一、お客様がインストールしたアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールしたアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- Androidマーケットからのアプリケーションの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

ドコモマーケットを利用する

ドコモマーケットでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 ホーム画面▶[プリインストール]▶[ドコモマーケット]

ブラウザが起動し、「ドコモマーケット」が表示されます。

お知らせ

- ドコモマーケットのご利用には、パケット通信(3G／GPRS)もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- ドコモマーケットへの接続およびドコモマーケットで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。
- ドコモマーケットで紹介しているサイト、または、そこから取得された情報によって生じたいかなる損害についても、ドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションの動作内容、使用目的への適合性、信頼性に関してドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行うアプリケーションによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などが、インターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用になるアプリケーションなどの提供元および動作の状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本サイト上に掲載されている著作物(文書･写真･イラスト･動画･音声･ソフトウェアなど)の著作権は、ドコモまたは第三者が保有しており、著作権法その他の法律ならびに条約により保護されております。私的使用目的の複製、引用など著作権法上認められている範囲を除き、著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信などすることはできません。

文字入力

本FOMA端末では、文字入力欄をタップし、表示されるキーパッドを使用して文字を入力できます。以下の2種類のキーパッドを切り替えて使用できます。

■ テンキーパッド

日本語をかな入力で行う場合に使用します。

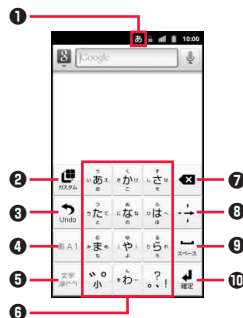
■ QWERTYキー(フルキー)パッド

日本語をローマ字入力で行う場合に使用します。

テンキーパッドで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ▶キーパッドの あA1 をロングタッチ

2 [テンキー⇔フルキー]

- キーパッドを閉じるには［戻る］を押します。

❶	入力モード	現在使用している入力モードを表示します。 あ：ひらがな漢字　AB：半角英字 カ：全角カタカナ　1：全角数字 ｶﾅ：半角カタカナ　12：半角数字 A：全角英字
❷	カスタムキー	キーパッドをカスタマイズします。
❸	Undoキー	文字を逆順で表示します。 変換確定した直後にタップすると、変換前の表示に戻ります。
❹	入力切替キー1	タップするたびに英字／数字／かな入力モードを切り替えます。 ロングタッチ▶[入力モード切替]をタップして、全角／半角を切り替えます。
❺	入力切替キー2	タップするたびに絵文字／記号(顔文字)／文字モードを切り替えます。 • 絵文字が入力できない文字入力欄では、記号(顔文字)／文字モードを切り替えます。
❻	文字入力キー	キーに表示されている文字を入力します。 目的の文字が表示されるまで続けてタップする方法や、文字入力キーをタッチしたまま、目的の文字の方向にフリックする方法があります。
❼	削除キー	カーソルの左側にある文字を削除します。
❽	カーソルキー	カーソルを上下左右に移動します。
❾	スペースキー	文字未入力時にスペースを入力します。 変換候補を表示します。
❿	改行キー	入力した文字を確定したり、改行します。

絵文字を入力する

絵文字を入力できる文字入力欄で使用できます。

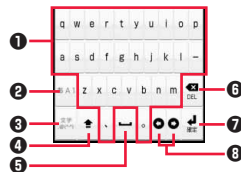
1 をタップして絵文字入力モードに切り替える

❶	入力切替キー	タップするたびに絵文字／記号（顔文字）／文字モードを切り替えます。
❷	履歴キー	最近使用した絵文字の一覧を❸に表示します。
❸	絵文字一覧	画面を上下にスクロールして絵文字を切り替えて、入力したい絵文字をタップします。
❹	削除キー	カーソルの左側にある絵文字を削除します。
❺	全絵文字キー	絵文字一覧を表示します。

QWERTYキーパッドで文字を入力する

1 文字入力欄をタップ▶キーパッドのをロングタッチ

2 [テンキー⇔フルキー]

- キーパッドを閉じるにはを押します。

❶	文字入力キー	キーに表示されている文字を入力します。
❷	入力切替キー1	タップするたびに英字／数字／ローマ字入力モードを切り替えます。 ロングタッチ▶[入力モード切替]をタップして、全角／半角を切り替えます。
❸	入力切替キー2	タップするたびに絵文字／記号（顔文字）／文字モードを切り替えます。 • 絵文字が入力できない文字入力欄では、記号（顔文字）／文字モードを切り替えます。
❹	大／小切替キー	大文字／小文字を切り替えます。
❺	スペースキー	文字入力時／未入力時にスペースを入力します。
❻	削除キー	カーソルの左側にある文字を削除します。
❼	改行キー	入力した文字を確定したり、改行します。
❽	カーソルキー	カーソルを左右に移動します。

文字入力時のメニュー

文字をコピー／切り取り／貼り付ける

1 **文字を入力▶文字入力欄をロングタッチ**

2 **[語句を選択]／[すべて選択]**

3 **スライダーを上下左右にドラッグして文字を選択▶文字入力欄をロングタッチ**

4 **[切り取り]／[コピー]**

- コピーした文字を貼り付ける場合は、文字入力欄をロングタッチ▶[貼り付け]をタップします。

Androidキーボードに切り替える

Androidキーボードに切り替えて文字を入力することもできます。

1 **文字入力欄をロングタッチ**

2 **[入力方法]▶[Androidキーボード]**

文字入力の設定

文字入力に関する各種設定を行うことができます。

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[言語とキーボード]▶[フィットキー]**

フィットキー設定画面が表示されます。

2 **必要な項目を設定**

ユーザー辞書に登録する

かな入力モードでよく使う単語を日本語ユーザー辞書に登録しておくと、その読みを入力したとき変換候補として優先的に表示されます。

1 **フィットキー設定画面▶[日本語ユーザー辞書]**

- 半角英字入力モードで使用する英単語を登録する場合は、[英語ユーザー辞書]をタップします。

2 **☰ ▶[登録]**

3 **[読み]の文字入力欄をタップ▶読みを入力**

4 **[表記]の文字入力欄をタップ▶単語を入力**

5 **[保存]**

学習辞書をリセットする

一度入力した語句は自動的に記憶され、予測変換で変換候補として表示されます。学習辞書をリセットすると、学習した内容がすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **フィットキー設定画面▶[学習辞書リセット]▶[OK]**

ロック／セキュリティ

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。FOMA端末の画面ロック用パスワードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コード（PUK）は、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

画面ロック用PIN／パスワード

FOMA端末の画面ロック機能を使用するための暗証番号です。PINは4桁以上の番号、パスワードは英字を1文字以上含む4桁以上の番号を設定できます（☞P.40）。

端末パスワード

FOMA端末リセット時や他のアプリケーションからパスワードマネージャが呼び出されたときに入力する4～8桁の番号です（☞P.40）。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※1の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

※1 「My docomo」については、本書裏面の裏側をご覧ください。

PIN1コード／PIN2コード

ドコモUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（☞P.39）。

PIN1コードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の番号（コード）です。

PIN1コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PIN1／PIN2コードの入力を3回連続して間違えると、PIN1／PIN2コードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード(PUK)

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

PINコードを設定する

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定します。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[現在地情報とセキュリティ]▶[SIMカードロック設定]

SIMカードロック設定画面が表示されます。

2 [SIMカードをロック]▶PIN1コードを入力▶[OK]

[SIMカードをロック]にチェックが付きます。

PIN1コードを変更する

1 P.39「PINコードを設定する」手順1～2を行う

2 [SIM PINの変更]

3 現在のPIN1コードを入力▶[OK]

4 新しいPIN1コードを入力▶[OK]

5 新しいPIN1コードを再度入力▶[OK]

PIN1ロックを解除する

PIN1コードの入力を3回連続して間違えるとPIN1がロックされ、[SIMカードはPUKでロックされています。]が表示されます。以下の操作でPIN1ロックを解除できます。

1 画面右(または左)からのガイドに沿ってドラッグ

- [10回間違えるとSIMカードがロックされます。]が表示されたら、[OK]をタップします。

2 PINロック解除コード(PUK)を入力▶[次へ]

3 新しいPIN1コードを入力▶[次へ]

4 新しいPIN1コードを再度入力▶[次へ]

PIN2コードを変更する

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[通話設定]▶[発信番号制限]

発信番号制限画面が表示されます。

2 [PIN2を変更]

3 現在のPIN2コードを入力▶[OK]

4 新しいPIN2コードを入力▶[OK]

5 新しいPIN2コードを再度入力▶[OK]

- 現在のPIN2コードの入力を3回連続して間違えてPIN2がロックされたら☞P.40「PIN2ロックを解除する」手順4

PIN2ロックを解除する

PIN2認証に3回連続して失敗し、[パスワードが正しくありません。PIN2を変更して再入力してください。]が表示されたら、以下の操作でPIN2ロックを解除できます。

1 **発信番号制限画面▶[PIN2を変更]**
2 **新しいPIN2コードを入力▶[OK]**
3 **新しいPIN2コードを再度入力▶[OK]**
4 **PINロック解除コード(PUK2)を入力▶[OK]**

画面ロックを設定する

他の人に使用されないように、ロック解除パターンまたはPIN、パスワードでFOMA端末をロックすることができます。

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[現在地情報とセキュリティ]**
位置情報とセキュリティの設定画面が表示されます。
2 **[画面ロックの設定]▶[パターン]／[PIN]／[パスワード]▶画面に従って操作する**

画面ロック設定を無効にする

1 **位置情報とセキュリティの設定画面▶[画面ロックの変更]**
2 **ロック解除パターンまたはPIN、パスワードを入力▶[なし]**

お知らせ

- ロック解除パターンの入力を5回連続して間違えた場合は、再入力の画面で[パターンを忘れた場合]をタップしたあとGoogleアカウントでログインし、画面に従って新しいパターンを作成できます。PINやパスワードを忘れた場合は、画面ロックの解除ができませんのでご注意ください。

端末パスワードを設定する

1 **ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[現在地情報とセキュリティ]**
位置情報とセキュリティの設定画面が表示されます。
2 **[端末パスワード設定]**
3 **端末パスワードを入力▶[OK]**
4 **端末パスワードを再度入力▶[OK]**

端末パスワードを変更する

1 **位置情報とセキュリティの設定画面▶[端末パスワード設定]**
2 **現在の端末パスワードを入力▶[OK]**
3 **新しい端末パスワードを入力▶[OK]**
4 **新しい端末パスワードを再度入力▶[OK]**

初期設定

初期設定

お買い上げ後、はじめてFOMA端末の電源を入れた場合は、画面の指示に従ってGoogleアカウントやGPSの位置情報、ホームアプリの設定を行います。

1 Androidをタップ▶[作成]

- 初期設定実行中に機能バージョンアップの案内画面が表示されたときは、[OK]をタップすると直前の画面に戻って操作を続けられます。
- すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、[ログイン]をタップします。

2 Googleアカウントに登録する名前と姓、希望するユーザー名(@gmail.comの前の部分)を入力▶[次へ]

3 パスワードを入力▶確認のためパスワードを再入力▶[次へ]

4 セキュリティ保護用の質問欄で質問を選択▶答え欄に任意の答えを入力▶予備のメール欄にすでにお持ちのメールアドレスを入力

- パスワードをお忘れになった場合、Googleのホームページで[セキュリティ保護用の質問]と[答え]を一致させれば、[予備のメール]にパスワードを送信できます。

5 [作成]

6 Google利用規約を確認▶[同意して次へ]

7 図で表示されている文字を入力▶[次へ]

8 位置情報についての内容を確認▶[次へ]

- Googleアカウントとともにデータをgoogleのサーバーにバックアップする場合は、チェックを付けます。

9 [次へ]▶[セットアップを完了]

ホームアプリの選択画面が表示されます。

10 [常にこの操作で使用する]にチェックを付ける

- チェックを付けなかった場合は、操作中に[⌂]を押すとホームアプリの選択画面が表示されます。

11 利用したいホームアプリをタップ

選択したホーム画面が表示されます。

Googleアカウント

Googleアカウントを設定すると、Androidマーケットからのアプリケーションのダウンロードなどが可能となります。すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、既存のアカウントをFOMA端末でご利用いただけます。

1 ホーム画面▶[☰]▶[設定]▶[アカウントと同期]▶[アカウントを追加]

2 [Google]▶[次へ]▶[作成]

- すでにGoogleアカウントをお持ちの場合は、[ログイン]をタップします。

3 P.41「初期設定」手順2～7の操作を行う

4 同期するデータにチェックを付ける▶[完了]▶[セットアップを完了]

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント(spモード、mopera U)は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面▶［ ］▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

アクセスポイントを追加で設定する

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。

1 ホーム画面▶［ ］▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

2 ［ ］▶[新しいAPN]

3 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]

4 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶［ ］▶[保存]

- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面▶［ ］▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

2 ［ ］▶[初期設定にリセット]

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、i モードと同じメールアドレス(@docomo.ne.jp)を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面▶［ ］▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]

2 [mopera U(スマートフォン定額)]／[mopera U設定]にチェックを付ける

お知らせ

- [mopera U設定]は、mopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- [mopera U(スマートフォン定額)]をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U(スマートフォン定額)の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Eメール設定

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。
- あらかじめアクセスポイントを設定してください(☞P.42)。

mopera Uのメールアカウントを設定する

mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、mopera Uメールをご利用になれます。

■ POPサーバーを利用する場合

1 **ホーム画面▶[プリインストール]▶[メール]**

2 **mopera Uメールアドレスとmopera Uのパスワードを入力▶[次へ]▶[POP3]**

3 **mopera Uのユーザー名とパスワードを入力▶POP3サーバーに[mail.mopera.net]を入力**

4 **セキュリティの種類欄で[なし]またはセキュリティを選択▶入力内容を確認▶[次へ]**

5 **SMTPサーバーに[mail.mopera.net]を入力▶mopera Uのユーザー名とパスワードの入力内容を確認▶[次へ]**

6 **オプションの設定画面▶メール自動確認の頻度などを設定▶[次へ]**

7 **メールアカウントの登録画面▶送信メールに表示される名前を入力▶[完了]**

一般プロバイダのメールアカウントを設定する

- あらかじめご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 **ホーム画面▶[プリインストール]▶[メール]**

2 **メールアドレスとパスワードを入力▶[次へ]**

3 **画面に従って操作する**

お知らせ

- メールアカウントの自動設定が完了しない場合、手順2で[手動セットアップ]をタップし、アカウント設定を手動で入力します。
- 別のメールアカウントを追加したい場合は、メール一覧画面▶[☰]▶[アカウント]▶[☰]▶[アカウントを追加]をタップします。

電話帳コピーツール

microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 **ホーム画面▶[プリインストール]▶[電話帳コピーツール]**
- はじめてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

1 **microSDカードをFOMA端末に取り付ける**

2 **[エクスポート]タブ画面▶[開始]**

docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

電話帳をmicroSDカードからインポートする

1 電話帳データが保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける

2 [インポート]タブ画面▶インポートしたいファイルをタップ

3 [上書き]／[追加]

インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 [docomoアカウントへコピー]タブ画面▶コピーしたいGoogleアカウントをタップ

2 [上書き]／[追加]

コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

お知らせ

- 他のFOMA端末の電話帳項目名(電話番号など)が本FOMA端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字はFOMA端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 電話帳をmicroSDカードからインポートする場合は、[一括バックアップ]で作成したファイルは読み込むことができません。

Wi-Fi

FOMA端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi]にチェックを付ける

Wi-Fiがオンになり、利用可能なWi-Fiネットワークを検索(スキャン)します。

2 [Wi-Fi設定]

検出されたWi-Fiネットワークのネットワーク名とセキュリティ設定(オープンネットワークまたはセキュリティで保護)がWi-Fiネットワークリストに表示されます。

- 手動でWi-Fiネットワークを登録する場合は、[Wi-Fiネットワークを追加]▶必要な情報を入力▶[保存]をタップします。
  セキュリティは[なし]／[WEP]／[WPA/WPA2 PSK]から選択します。

3 Wi-Fiネットワークを選択▶[接続]

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]をタップします。
- 接続中のWi-Fiネットワークを切断する場合は、Wi-Fiネットワークを選択して[切断]をタップします。

お知らせ

- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。

■ 利用できるチャンネルについて

本FOMA端末のWi-Fi機能は1～11チャンネルの周波数帯を利用できます。

オンラインサービスのアカウント

mixiやTwitterなどオンラインサービスのアカウントを設定し、FOMA端末と各サービスのサーバーとの間でデータの同期や送受信ができます。

- Exchangeアカウントを設定する場合は、設定情報などをネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[アカウントと同期]▶[アカウントを追加]

2 追加したいアカウントの種類を選択▶画面に従って操作する

- 追加したアカウントは「アカウントを管理」リストに表示されます。アカウントをタップすると、各アカウントの設定ができます。

電話

電話

電話をかける

1 ホーム画面▶[電話]▶相手の電話番号を入力

- 電話番号を間違えたときは、[×]をタップして入力した番号を消します。

2 [電話アイコン]

3 通話が終了したら[終了]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。
また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。

電話を受ける

1 電話がかかってくる▶[応答アイコン]を右端までドラッグ

- 応答を拒否する場合は、[拒否アイコン]を左端までドラッグします。

2 通話が終了したら[終了]

お知らせ
- 本FOMA端末は応答保留ができません。

マナーモード

マナーモードを設定すると、音楽や動画、アラーム以外の音を消すことができます。

1 ⏻を1秒以上押す▶[マナーモード]

バイブの設定（☞P.50）によって、ステータスバーに[アイコン]／[アイコン]が表示されます。
- [音量キー]を押して着信音量を0にしてもマナーモードを設定できます。

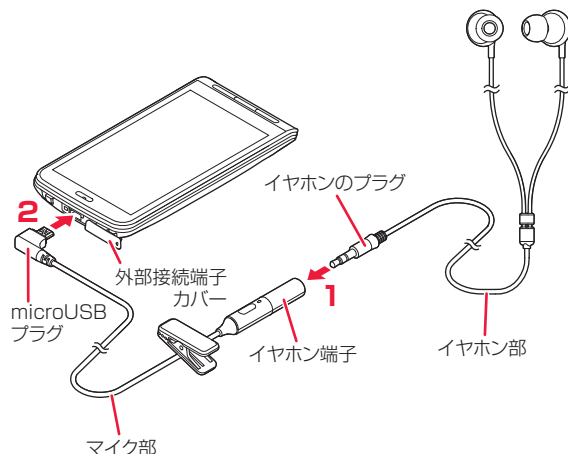
■ マナーモードを解除する

1 マナーモード設定中▶⏻を1秒以上押す▶[マナーモード]

お知らせ
- マナーモード設定中でも、カメラ撮影時のシャッター音、録画開始／終了音は鳴ります。

ステレオイヤホンマイクの使いかた

FOMA端末にステレオイヤホンマイク(試供品)を接続すると、ステレオイヤホンマイクのスイッチを押してかかってきた電話を受けることができます。

■ ステレオイヤホンマイクを取り付ける

1 イヤホンのプラグをマイク部のイヤホン端子に差し込む

- イヤホンのプラグをイヤホン端子の奥まで正しく差し込んでください。

2 マイク部のmicroUSBプラグを外部接続端子に差し込む

- 外部接続端子カバーの開けかたについては☞P.21
- microUSBプラグの向きを確認してから差し込んでください。

■ ステレオイヤホンマイクの操作

機能	操作
電話に出る	着信中にステレオイヤホンマイクのスイッチを押します。
電話を拒否する	着信中にステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押します。
電話を切る	通話中にステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押します。
通話をミュートする	通話中にステレオイヤホンマイクのスイッチを押します。ミュート中にスイッチを押すと解除します。
音楽を再生／一時停止	音楽停止中にスイッチを押すと再生し、再生中にスイッチを押すと一時停止します。 • 起動中の機能によっては操作できない場合があります。

通話履歴

1 ホーム画面▶[電話]▶[通話履歴]タブ

通話履歴画面が表示されます。

- 履歴を1件消去する場合は、消去したい履歴をロングタッチ▶[通話履歴から消去]をタップします。
  履歴を全件消去する場合は、通話履歴画面▶[☰]▶[通話履歴を全件消去]▶[OK]をタップします。

通話履歴画面

❶ :発信履歴
:着信履歴
:不在着信履歴
:着信拒否履歴
着信拒否設定(☞P.50)をした電話番号から着信があった場合に表示されます。

❷ タップして階層下の履歴を表示
同じ名前や電話番号から連続して履歴が記憶された場合、1つにまとめて表示されます。

❸ 名前や電話番号
タップして再発信やSMSの送信、連絡先の詳細表示/追加ができます。

❹ タップして電話を発信

❺ 階層下の履歴件数

電話帳

電話帳に登録する

電話帳には名前や電話番号、メールアドレスなどを登録できます。

1 ホーム画面▶[プリインストール]▶[電話帳]▶[新規登録]

2 必要な項目を入力

3 [完了]

連絡先を確認する

1 ホーム画面▶[プリインストール]▶[電話帳]

連絡先一覧画面が表示されます。

連絡先一覧画面

❶ 電話番号をタップしてオーナー情報を表示します。

❷ インデックスバー

❸ タップして電話発信やSMSの送信などができます。

❹ 名前
タップして連絡先の詳細を確認できます。ロングタッチして連絡先の編集/削除などができます。

❺ タップしてアカウントを選択し、グループを選択して、グループごとの連絡先を表示します。

❻ タップして検索欄にキーワードを入力し、連絡先を絞り込みます。

❼ インデックス
上下にスクロールして、中央にハイライト表示された文字のインデックスバーが先頭にきます。

各種設定

設定メニュー

ホーム画面▶ [メニュー] ▶[設定]をタップして設定メニューを呼び出して、FOMA端末の各種設定を行うことができます。

無線とネットワーク

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶[無線とネットワーク]▶以下の操作を行う

項目		説明
機内モード		FOMA端末のワイヤレス通信機能を無効にします。 • [機内モード]にチェックを付けるとWi-FiやBluetooth機能もオフになりますが、機内モード中に再びオンにすることができます。病院、飛行機、電車の優先席付近など、電波の使用を禁止された区域では、Wi-FiやBluetooth機能を使用しないでください。
Wi-Fi		☞P.44
Wi-Fi設定	ネットワークの通知	Wi-Fiのオープンネットワークが検出されたら通知するように設定します。
	Wi-Fiネットワークを追加	☞P.44
Bluetooth※1		Bluetooth機能のオン／オフを設定します。
Bluetooth設定	端末名	Bluetooth通信を行ったときに、相手の機器に表示されるFOMA端末の名前を変更します。
	検出可能	チェックを付けると、FOMA端末が他のBluetooth機器から約120秒間検出可能になります。
	デバイスのスキャン	使用可能なBluetooth機器を検出します。
テザリングとポータブルアクセスポイント	USBテザリング	モバイルネットワークのデータ通信を利用して、USB対応のパソコンなどをインターネットに接続させます。
	ポータブルWi-Fiアクセスポイント※1	FOMA端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用して、無線LAN対応のパソコンなどをインターネットに接続させます。
	ポータブルWi-Fiアクセスポイントの設定	ネットワークSSIDの変更やセキュリティの設定を行います。
	ヘルプ	テザリングのヘルプを表示します。
VPN設定	VPNの追加	VPN(Virtual Private Network：仮想プライベートネットワーク)接続の設定を追加します。 • VPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。 • ISPをspモードに設定している場合は、PPTPは利用できません。

モバイルネットワーク	データ通信を有効にする	モバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にします。
	データローミング	ローミング時にデータサービスへの接続を有効にします。
	ネットワークモード	優先的に使用するネットワークの種類を設定します。
	アクセスポイント名	☞P.41
	ネットワークオペレーター	利用可能な通信事業者のネットワークを検索し、利用する通信事業者を設定します。 • ネットワークの検索でエラーが発生する場合は、[データ通信を有効にする]のチェックを外して再度実行してください。

※1 Bluetooth機能をオンにすると、ポータブルWi-Fiアクセスポイントは無効になります。また、ポータブルWi-Fiアクセスポイントを有効にすると、Bluetooth機能はオフになります。

通話設定

1 ホーム画面▶［☰］▶[設定]▶[通話設定]▶以下の操作を行う

発信番号制限※1	発信番号制限をONにする／発信番号制限をOFFにする	ONにすると、発信番号制限リストに登録した電話番号のみに発信ができます。
	PIN2を変更	☞P.39
	発信番号制限リスト	電話番号リストを管理します。 • リスト追加時の名前の入力には、半角英数字と半角記号のみ利用できます。
ネットワークサービス設定	留守番電話	詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
	転送でんわ	
	キャッチホン	
	発信者番号通知	
着信拒否設定	指定電話番号着信拒否設定	指定した電話番号からの着信を拒否します。
	電話帳登録外着信拒否設定	電話帳に登録していない電話番号からの着信を拒否します。
	着信拒否リスト	着信拒否リストの登録／変更／削除を行います。
海外発信アシスト		国外からの電話発信時に、日本の国番号を付加して発信するか、そのまま発信するかの選択画面が表示されます。
アカウント		[アカウントを追加]をタップして、インターネット通話を行うためのSIPアカウントを設定します。また、インターネット通話で着信を受けたい場合は、[着信を受ける]にチェックを付けます。
インターネット通話を使用		Wi-Fiネットワーク接続中にインターネット通話を利用して電話をかけるかどうかを設定します。

※1 ドコモUIMカードでは利用できません。

音

1 ホーム画面▶［☰］▶[設定]▶[音]▶以下の操作を行う

マナーモード	マナーモードを設定／解除します。
バイブ	バイブレーション（振動）を常にオン／オフにするか、またはマナーモード設定中／解除中のみオンにするかを設定します。

音量	着信音や通知音、メディア再生音、アラームの音量を調節します。 • ▲／▼で着信音量を調節できます。ただし、音楽や動画の再生中やワンセグ視聴中などは各機能の音量調節キーになります。
着信音	電話着信音を設定します。
通知音	SMSなどを受信したときの通知音を設定します。
タッチ操作音	電話のダイヤルキー操作音のオン／オフを設定します。
選択時の操作音	メニュー選択時の操作音のオン／オフを設定します。
画面ロックの音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
入力時バイブレーション	特定の画面操作におけるバイブレーション(振動)のオン／オフを設定します。

表示

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[表示]▶以下の操作を行う

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
画面の自動回転	FOMA端末の向きに合わせて縦／横画面表示を自動的に切り替えます。
アニメーション表示	画面や項目を表示するときに、アニメーション表示するかどうかを設定します。
バックライト消灯	無操作の状態が続いたときに、自動的にスリープモードになるまでの時間を設定します。 • 赤外線通信機能が実行中の場合は、無操作のまま設定時間が過ぎてもスリープモードになりません。
フォント設定	FOMA端末で表示するフォントを設定します。
近接センサー	通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのセンサーを有効にします。
利き手設定	ユーザーの利き手情報を設定します。

現在地情報とセキュリティ

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[現在地情報とセキュリティ]▶以下の操作を行う

無線ネットワークを使用	Wi-Fiやモバイルネットワーク基地局からの情報をもとに、現在地を検索します。
GPS機能を使用	より精度の高い位置情報を測位します。 • 視界が良好である必要があり、電池の消費が多くなります。無線ネットワークとの併用をおすすめします。
画面ロックの設定	☞P.40
SIMカードロック設定	☞P.39
端末パスワード設定	☞P.40
パスワードを表示	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者を選択	デバイス管理者を追加／削除します。
安全な認証情報の使用	FOMA端末のアプリケーションにパスワード設定された認証情報ストレージへのアクセスを許可することで、認証情報や証明書を有効にします。
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
パスワードの設定	認証情報ストレージパスワードを設定／変更します。

ストレージの消去	認証情報ストレージからすべての認証情報や証明書を消去して、ストレージのパスワードをリセットします。

アプリケーション

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶[アプリケーション]▶以下の操作を行う

提供元不明のアプリ	Androidマーケット以外のサイトやメールなどから入手したアプリケーションのインストールを許可します。 • お使いのFOMA端末と個人データを保護するため、Androidマーケットなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。
アプリケーションの管理	アプリケーションのデータやキャッシュを消去したり、インストールしたアプリケーションを削除したりします。
実行中のサービス	現在実行中のサービスを表示／管理します。
ストレージ使用状況	アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。
電池使用量	アプリケーションごとの電池使用量を確認できます。
開発	アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

アカウントと同期

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶[アカウントと同期]▶以下の操作を行う

バックグラウンドデータ	FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションが、自動的にデータ通信を行うことを許可します。
自動同期	アプリケーションがデータを自動同期することを許可します。
アカウントを追加	☞P.45

- 追加したアカウントをタップすると、同期させる項目の変更、手動での同期、アカウントの削除などができます。
- オンラインサービスのアカウントを削除すると、FOMA端末に保存されたアカウントのデータ（メッセージや電話帳、設定など）も削除されます（オンラインサービス上のデータは削除されません）。

プライバシー

1 ホーム画面▶ [メニュー] ▶[設定]▶[プライバシー]▶以下の操作を行う

データのバックアップ	アプリケーションのデータや設定をGoogleサーバーにバックアップします。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップした設定やデータを復元します。
データの初期化	FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻します。 • この操作を行うと、ご購入後にFOMA端末にお客様がインストールしたアプリケーションや登録したデータは、一部を除きすべて削除されます。

ストレージ

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[ストレージ]▶以下の操作を行う

合計容量	microSDカードの合計容量を表示します。
空き容量	microSDカードのメモリの空き容量を表示します。
SDカードのマウント解除／SDカードをマウント	FOMA端末からmicroSDカードを安全に取り外します／FOMA端末にmicroSDカードを認識させます。
SDカード内データを消去※1	microSDカード内の全データを消去します。
空き容量	FOMA端末のメモリの空き容量を表示します。

※1 [SDカードのマウント解除]をタップして、microSDカードのマウントを解除すると選択可能になります。

言語とキーボード

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[言語とキーボード]▶以下の操作を行う

言語を選択	使用する言語を設定します。
単語リスト	Androidキーボード用の単語リストに登録します。 ▶ ☰ ▶[追加]▶単語を入力▶[OK]
フィットキー	☞P.37
Androidキーボード	Androidキーボードのキー操作音や入力候補表示などを設定します。 • [オートコンプリート]は、チェックを付けても有効になりません。

音声入出力

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[音声入出力]▶以下の操作を行う

音声認識装置の設定	言語	音声によるテキスト入力で使用する言語を設定します。
	セーフサーチ	音声検索の結果にアダルトフィルタを設定します。
	不適切な語句をブロック	音声によるテキスト入力で不適切な語句を表示しないように設定します。
テキスト読み上げの設定	サンプルを再生	音声合成のサンプルを再生します。
	常に自分の設定を使用	常に[デフォルト設定]欄で設定した内容でアプリケーションが動作します。
	既定のエンジン	テキスト読み上げに使用する音声合成エンジンを設定します。
	音声データをインストール※1	テキスト読み上げに必要な音声データが未インストールの場合、Androidマーケットからインストールします。 • 音声データには日本語のデータは含まれません。
	音声の速度	テキストの読み上げ速度を設定します。
	言語	テキスト読み上げに使用する言語を設定します。
	Pico TTS	インストールされている音声データを確認できます。

※1 音声データがインストールされている場合は選択できません。

ユーザー補助

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[ユーザー補助]

- [ユーザー補助アプリケーションが見つかりません]が表示されたら、[OK]をタップしてAndroidマーケットからスクリーンリーダーをインストールするか、[キャンセル]をタップします。

2 以下の操作を行う

ユーザー補助	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助アプリケーションを有効にします。[ユーザー補助]にチェックを付けてから、有効にしたいアプリケーションにチェックを付けます。 • テキスト読み上げには音声データのインストールが必要です(☞P.53)。
電源ボタンで通話を終了する	ⓟを押して通話を終了できるようにします。

日付と時刻

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[日付と時刻]▶以下の操作を行う

自動	ネットワーク上の日付、タイムゾーン、時刻を取得して自動的に補正します。
日付設定	年月日を手動で設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを手動で設定します。
時刻設定	時刻を手動で設定します。
24時間表示	時刻を24時間表示に切り替えます。
日付形式	年月日の表示方法を切り替えます。

端末情報

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[端末情報]▶以下の操作を行う

ソフトウェア更新	☞P.63
機能バージョンアップ	☞P.63
端末の状態	電池残量や電話番号などを確認できます。
電池使用量	アプリケーションごとの電池使用量を確認できます。
法的情報	オープンソースライセンス(GPL／LGPL含む)やGoogle利用規約を確認できます。
モデル番号	型番を確認できます。
Androidバージョン	ソフトウェアのバージョンを確認できます。
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

メール／インターネット

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

- あらかじめアクセスポイント（☞P.41）、メールアカウント（☞P.43）を設定してください。

Eメールを作成して送信する

1 **ホーム画面▶[プリインストール]▶[メール]**

2 **[☰]▶[作成]**

3 **[To]欄▶メールアドレスを入力**

4 **[件名]欄▶件名を入力**

5 **[メッセージを作成]欄▶メッセージを入力**

6 **[送信]**

お知らせ

- Eメールはパソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからのメール受信拒否を設定していると、Eメールを送信できません。

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 **ホーム画面▶[spモードメール]**

2 **画面に従って操作する**

Gmail

GoogleのオンラインEメールサービスです。FOMA端末のGmailを使用して、Eメールの送受信ができます。

- あらかじめGoogleアカウント（☞P.41）を設定してください。

1 **ホーム画面▶[プリインストール]▶[Gmail]**

- Gmailの詳細については、Gmailの画面▶[☰]▶[その他]▶[ヘルプ]をご覧ください。

SMS

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は、最大160文字）の文字メッセージを送受信できます。

SMSを作成して送信する

1 **ホーム画面▶[プリインストール]▶[メッセージ]▶[新規作成]**

2 **[To]欄▶送信先の携帯電話番号を入力**

3 **[メッセージを入力]欄▶メッセージを入力**

4 **[送信]**

緊急速報「エリアメール」

緊急速報「エリアメール」とは、気象庁から配信される緊急地震速報を受信することができるサービスです。エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。

エリアメールを受信する

1 エリアメールを自動的に受信する

2 ステータスバーの通知アイコン、専用のブザー音、バイブレーション(振動)、着信／充電ランプの点滅でお知らせ

3 本文詳細画面が自動で表示される

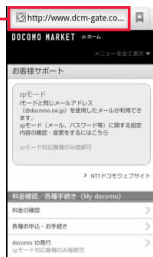
4 [閉じる]

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧したり、Flashを再生することなどができます。
本FOMA端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブブラウザを利用できます。

ウェブブラウザを起動する

1 ホーム画面▶[プリインストール]▶[ブラウザ]

ホームページが表示されます。

2 アドレスバーにURLまたはキーワードを入力

- アドレスバーが表示されていない場合は、ウェブページを下にドラッグするか、[≡]を押します。
- アドレスバーをタップしてから[🎤]をタップすると、音声検索ができます。

3 [→]をタップ、または候補リストから表示したいウェブページを選択

ブックマークや履歴を利用する

ブックマークを追加する

1 追加したいウェブページを表示▶[≡]▶[ブックマーク]▶[≡]▶[最後に表示したページをブックマークする]

2 ブックマークの名前を確認／変更▶[OK]

履歴からウェブページを表示する

1 ウェブページ表示中▶[≡]▶[ブックマーク]▶[よく使用]タブ／[履歴]タブ

- 履歴の★(グレー)をタップすると、ブックマークに追加できます。

2 表示したいウェブページをタップ

マルチメディア

カメラ

撮影画面を表示する

縦向き、横向きのどちらでも撮影できます。

1 ホーム画面▶[プリインストール]▶[カメラ]

静止画撮影画面が表示されます。

- 動画撮影画面に切り替えるにはをタップします。

静止画を撮影する

1 静止画撮影画面▶被写体をフォーカスフレームに合わせる▶

ピントが合うとフォーカスフレームが緑色になります。
シャッター音が鳴り、撮影した静止画がmicroSDカードに保存されます。

動画を撮影する

1 動画撮影画面▶被写体を画面に表示▶

録画開始音が鳴り、動画撮影が始まります。

2

録画終了音が鳴り、撮影した動画がmicroSDカードに保存されます。

ピクチャアルバム

ピクチャアルバムを起動してmicroSDカードに保存した静止画や動画を表示できます。

静止画／動画を表示する

1 ホーム画面▶[プリインストール]▶[ピクチャアルバム]

2 静止画を表示する場合

表示したい静止画をタップ

拡大画面が表示されます。

動画を再生する場合

再生したい動画をタップ▶拡大画面をタップ

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーを起動してmicroSDカードに保存した音楽を再生できます。

曲を再生する

1 ホーム画面▶[プリインストール]▶[音楽]

- [アーティスト]／[アルバム]／[曲]／[プレイリスト]をタップしてタブを切り替えます。

2 アーティストやアルバム、プレイリストを選択

3 再生したい曲をタップ

ワンセグ

ワンセグを起動する

1 ホーム画面▶[プリインストール]▶[ワンセグ]

ワンセグ視聴画面が表示されます。

- 初回起動時は、視聴する地域に対応したチャンネルリストを設定します（☞P.58）。

チャンネルリストを設定する

視聴する地域に対応したチャンネルリストを設定します。

1 ワンセグ視聴画面▶[☰]▶[設定]▶[チャンネル設定]▶以下の操作を行う

地域選択	地域一覧から視聴する地域を選択して、チャンネルリストを設定します。
現在地から設定	現在地で受信可能なチャンネルを検索し、検出されたチャンネルをチャンネルリストに自動登録します。

付録

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- 電池パック P24
- リアカバー P52
- ACアダプタケーブル P01※1
- FOMA 補助充電アダプタ 02※2
- キャリングケース 02
- Bluetoothヘッドセット F01※3
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- ワイヤレスイヤホンセット P01
- ワイヤレスイヤホンセット 02
- 骨伝導レシーバマイク 02
- 車載ハンズフリーキット 01

※1 充電方法については☞P.21

※2 microUSBケーブルを接続してご利用ください。

※3 Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな?と思ったら

- まずはじめにソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください(☞P.63)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症状	チェックする箇所
FOMA端末の電源が入らない	● 電池パックが正しく取り付けられていますか(☞P.20)。 ● 電池切れになっていませんか(☞P.21)。

■ 充電

症状	チェックする箇所
充電ができない(充電ランプが点灯しない、またはステータスバーに充電異常アイコンが表示される)	● 電池パックが正しく取り付けられていますか(☞P.20)。 ● 付属のACアダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか(☞P.21)。 ● 付属のmicroUSBケーブルが、FOMA端末およびACアダプタと正しく接続されていますか(☞P.21)。 ● FOMA端末とパソコンを付属のmicroUSBケーブルで接続している場合、パソコンの電源が入っていますか(☞P.22)。 ● 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇してステータスバーに温度異常アイコンが表示される場合があります。その場合は充電を一度中止し、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を開始してください(☞P.21)。

■ 端末操作

症状	チェックする箇所
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、ACアダプタケーブルが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください（☞P.12、P.13、P.21）。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください（☞P.21）。
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください（☞P.12）。
タッチパネルをタップしたとき／ボタンを押したときに動作しない	• スリープモードになっていませんか。 ⏻または⌂を押してスリープモードを解除してください（☞P.22）。 • 電源を入れ直してください（☞P.22）。
ドコモUIMカードが認識しない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか（☞P.18）。
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 日付と時刻の[自動]がオンになっているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください（☞P.54）。
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 • セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から⏻を2秒以上押し、ドコモのロゴが表示されたときからホーム画面が表示されるまで☰を押し続けてください。 ※セーフモードが起動すると画面に「セーフモード」と表示されます。 ※セーフモードを終了するには、電源を1度OFFにし起動し直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

■ 通話

症状	チェックする箇所
📞をタップしても発信できない	• 発信番号制限を設定していませんか（☞P.50）。 • 機内モードがオンになっていませんか（☞P.49）。

症状	チェックする箇所
通話ができない（場所を移動しても圏外の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを取り付け直してください（☞P.18、P.20、P.22）。 • 電波の性質により、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態（▊）でも、発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 着信拒否設定など着信制限を設定していませんか（☞P.50）。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は[発信制限が設定されています]と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説明／対処方法
SIMが挿入されておりません	オーナー情報欄をタップしたときにドコモUIMカードが挿入されていない場合に表示されます。ドコモUIMカードが正しく挿入されているか確認してください（☞P.18）。
挿入されたSIMカードは、この携帯電話機では使用出来ません。 有効なSIMカードを挿入してください。	他事業者のSIMカードが挿入された場合に表示されます。
電池残量が不足しています 処理を開始できません	電池残量が少ない状態でSDバックアップを開始しようとしたときに表示されます。 十分充電してから再度操作してください（☞P.21）。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申しつけください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本FOMA端末は、電話帳のデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合(例:水濡れシールが反応している場合)
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合(外部接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります)

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - ・ 火災・けが・故障の原因となります。
  - ・ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    ・液晶部やボタン部にシールなどを貼る
    ・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    ・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - ・ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所:スピーカー、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。
  ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル(電話帳機能)およびダウンロード情報などについて

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェア更新について

P-07Cのソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。

ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。
自動更新:新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
即時更新:更新したいときすぐ更新を行います。
予約更新:アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された電話帳の連絡先、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のP-07Cの状態(故障·破損·水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承願います。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承願います。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- ソフトウェア更新を行う際は、空き容量が十分なmicroSDカードを挿入してください。空き容量が不足している旨のメッセージが表示された場合は、microSDカードのデータを削除してから再度実行してください。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - · 通話中·圏外にいるとき
  - · 国際ローミング中
  - · 機内モード中
  - · Wi-Fiネットワークとの接続中
  - · OSバージョンアップ中
  - · 日付·時刻を正しく設定していないとき
  - · ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - · ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき
  - · ソフトウェア更新に必要なmicroSDカードの空き容量が十分でないとき
- ソフトウェア更新(ダウンロード、書き換え)には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用することはできません(ダウンロード中は音声着信が可能です。ただし、音声着信時はダウンロードが中断されます)。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバー(当社のサイト)へSSL/TLS通信を行います。
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
  ※ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。
- すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に[更新の必要はありません。このままお使いください。]と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、[ローミング中もしくは圏外時は更新ができません。]と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、[充電不足のため更新できません。フル充電をしてから再度更新を実行してください。]と表示されます。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。

- ソフトウェア更新の際、お客様のP-07C固有の情報(機種や製造番号など)が、自動的にサーバー(当社が管理するソフトウェア更新用サーバー)に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合、[ソフトウェア更新に失敗しました。お手数ですが、お近くのショップへお持ちください。]と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- ソフトウェア更新中はワンセグの視聴予約/録画予約は動作しません。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェア更新を自動で行う(自動更新)

新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書き換えを行います。
お買い上げ時は、自動更新設定が[自動で更新を行う。]に設定されています。

書き換え可能な状態になるとステータスバーに⊕(ソフトウェア更新有)が表示され、書き換え時刻の確認を行い、書き換え時刻の変更や今すぐ書き換えするかを選択できます。

⊕(ソフトウェア更新有)が表示された状態で書き換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、⊕(ソフトウェア更新有)は消去されます。
書き換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、音声通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。
自動更新設定が[自動で更新を行わない。]になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

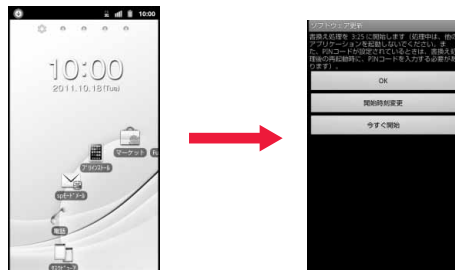
自動更新の設定

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]▶[ソフトウェア更新設定の変更]

2 ソフトウェア更新通知があったときの動作を選択

- 自動でソフトウェア更新をするとき:[自動で更新を行う。]
- 自動でソフトウェア更新をしないとき:[自動で更新を行わない。]

更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。

1　通知パネルを開く▶通知をタップ

- ソフトウェア更新が必要なときは、書き換え時刻が表示されます。

2　設定時刻に書き換えを行う場合

[OK]

- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書き換えを開始します。

書き換え時刻を変更する場合

[開始時刻変更]▶（☞P.67「時刻を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）」手順1）

- アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

今すぐ書き換えを行う場合

[今すぐ開始]▶（☞P.66「すぐにソフトウェアを更新する」手順1）

- 書き換えを開始します。
- 書き換えが完了するとステータスバーに（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。
- は、一度確認すると消去されます。

お知らせ

- 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。

ソフトウェア更新を起動する（即時更新）

1　ホーム画面▶ ▶[設定]▶[端末情報]▶[ソフトウェア更新]

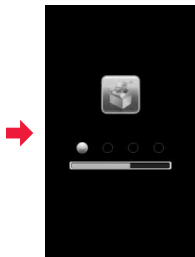
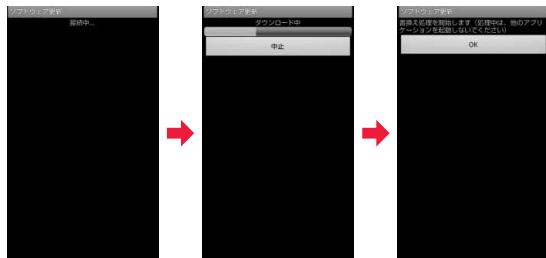
- ホーム画面▶ ▶[設定]▶[端末情報]▶[機能バージョンアップ]▶[サーバーから更新]▶[ソフトウェア更新]をタップしても操作できます。

2　[更新を開始する]▶[はい]

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

- ソフトウェア更新の必要がないときには、[更新の必要はありません。このままお使いください。]と表示されます。

3 [OK]

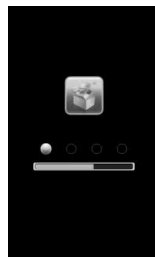
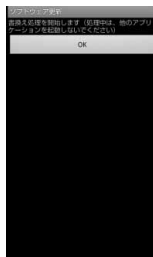
- 再起動後更新を開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新中に数回自動的に再起動します。

4 ホーム画面が表示

- ステータスバーに☑が表示されます。☑は、一度確認すると消去されます。

すぐにソフトウェアを更新する

1 [今すぐ開始]

2 [書換え処理を開始します]が表示▶[OK]

- [書換え処理を開始します]の表示が約3秒経過すると、自動的に書き換えを開始します。
- 書き換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。書き換えを中止することもできません。
- 書き換えが終了すると、自動的に再起動します。

3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効になります。更新を中止することもできません。
- 更新を終了すると、約5秒後に自動的に再起動します。

4 通知パネルを開く▶通知をタップ

- ソフトウェア更新を終了し、ホーム画面が表示されます。
- ステータスバーに更新が完了したことを表す（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。（ソフトウェア更新が完了しました。）は、一度確認すると消去されます。

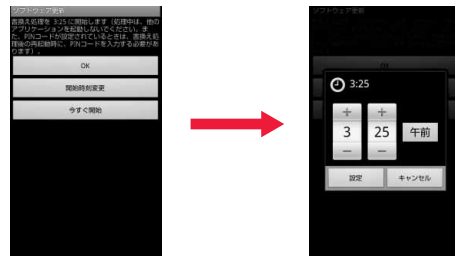
ソフトウェア更新終了後の表示について

ホーム画面のステータスバーにが表示されます。通知パネルを開くと、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。

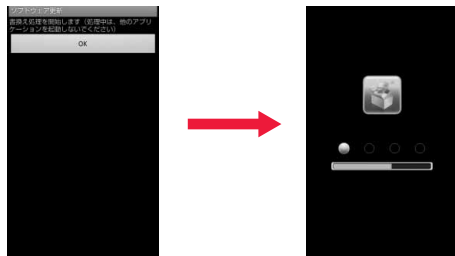
時刻を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合には、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 [開始時刻変更]

- 書き換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻は、P-07Cの時刻に合わせて表示されます。

2 希望の時刻を入力▶[設定]

- 時刻を設定します。
- [＋]／[−]をタップして更新時刻を変更し、[設定]をタップします。

予約した時刻になると

1 [書換え処理を開始します]が表示▶[OK]

- [書換え処理を開始します]の表示後約３秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。
- ソフトウェア更新の予約した時刻には、電波の十分届くところでホーム画面を表示させておいてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻にOSバージョンアップ中の場合、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていたときは、ソフトウェア更新が優先されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときP-07Cの電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったときにソフトウェア更新を行います。

機能バージョンアップソフトウェアを更新する

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[端末情報]▶[機能バージョンアップ]▶[サーバーから更新]

2 [ソフトウェア更新]▶[はい]▶[はい]▶[今すぐ更新]

更新ファイルがダウンロードされます。

- [予約登録]を選択した場合は、ダウンロード開始時刻を設定し、[はい]をタップします。

3 通知パネルを開く▶通知をタップ

4 [今すぐ更新]

FOMA端末が再起動し、書き換えを開始します。書き換え完了後、再度FOMA端末が再起動し、ステータスバーに⬇が表示されます。

- [あとで更新]を選択した場合は、更新する際に手順3～5を行います。

5 通知パネルを開く▶書き換え結果を確認▶[OK]

最新のソフトウェアを自動検索する

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[端末情報]▶[機能バージョンアップ]▶[サーバーから更新]▶[設定]

2 [自動検索]にチェックを付ける▶[OK]

お知らせ

- 自動検索には通信料がかかる場合があります。

microSDカードから更新する

- あらかじめ新しいソフトウェアをパナソニックのサイトから入手し、microSDカードの[Download]フォルダに保存してください。

1 ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[端末情報]▶[機能バージョンアップ]▶[microSDから更新]▶[OK]

新しいソフトウェアをmicroSDカードから検索します。

2 **[OK]**

FOMA端末が再起動し、書き換えを開始します。書き換え完了後、再度FOMA端末が再起動し、更新結果が表示されます。

3 **[OK]**

携帯電話機の比吸収率（SAR）

この機種P-07Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.438W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://panasonic.jp/mobile/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成23年8月現在）

Handling Precautions

- When using the Wi-Fi/Bluetooth function abroad, check local laws and regulations regarding use of Wi-Fi/Bluetooth devices beforehand.
- The excessive sound volume impairs your hearing.
- Be sure to check the security and safety of the application, then install it at your own risk. Your FOMA terminal may be infected with a virus, or data may be damaged. It may cause excessive sound volume.

European RF Exposure Information

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.440 W/kg.**
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet* the EU requirements for RF exposure.**

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Declaration of Conformity

CE0168ⓘ

The product "P-07C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on http://panasonic.net/pmc/support/index.html.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and
  (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

This model phone meets the U.S. government's requirements for exposure to radio waves.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base

station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in various positions and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.618 W/kg, and when worn on the body in a holster or carry case, is 1.200 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID UCE211040A.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a ‘flight mode’ or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.
DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.
HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.
PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.
INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.
Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.
Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.
For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また、米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権

著作権・肖像権

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得もしくは本製品に搭載された文章、画像、映像、音楽、ソフトウェアなどの著作物は著作権法により保護されています。従って、第三者が著作権を有する著作物は、私的使用目的の複製や引用など著作権法上で認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信、転用、頒布などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様は別途著作権者の許諾なく本製品に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせずまたは第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

商標

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「トルカ」「mopera」「mopera U」「ｉチャネル」「公共モード」「メロディコール」「エリアメール」「spモード」「声の宅配便」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
- 「とるキャラ」は株式会社ニコンの商標です。
- 「プリプリまろん」は株式会社シフカの登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- Contains Adobe® Flash® Player by Adobe Systems Incorporated. Adobe Flash Player Copyright © 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe and Flash are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

- フィットキー及びFit Keyの日本語／英語変換はオムロンソフトウェアのiWnnIMEを利用しています。
  iWnnIME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2011 All Rights Reserved.
- MPEG Audio Layer-3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IISおよびThomsonからライセンスを受けています。

- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License及びAVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
  - 画像情報をMPEG-4 Visual、AVC規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVCビデオ)を記録すること。
  - 個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVCビデオを再生すること。

  詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com)をご参照ください。
- 本製品は、InterDigital Technology社からのライセンスに基づき生産・販売されています。
- 本製品は、マイクロソフト社の知的財産権に係わる技術が含まれています。マイクロソフトからの適正なライセンスを得ずに、本製品以外でこの技術の使用もしくは頒布を行うことは禁止されています。
- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReady™ コンテンツアクセス技術によって、著作権で保護されたコンテンツを含む知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び／又は WMDRMにより保護されたコンテンツへのアクセスをします。本製品が、コンテンツ保護を適切に実施できない場合、当該コンテンツの権利者は、マイクロソフトに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使う本製品の機能の無効化を申し入れることができます。この無効化は、PlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えてはなりません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツにアクセスするためにPlayReadyのアップグレードを要求する場合があります。その場合、アップグレードを行わないと、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。
- 本製品にはGNU General Public License(GPL), GNU Lesser General Public License(LGPL)その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従い、複製、頒布及び改変することができます。ソースコードの入手方法に関しては、下記URLへ接続の上、ご確認ください。
  http://panasonic.jp/mobile/gpl/
  なお、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えしかねますので、予めご了承ください。携帯電話からのダウンロードは行えません。ダウンロードはお手持ちのパソコンをご利用ください。
  当該ソフトウェアに関する詳細(GPL／LGPLの各ライセンス文含む)は、ホーム画面▶ ☰ ▶[設定]▶[端末情報]▶[法的情報]の手順で確認することができます。

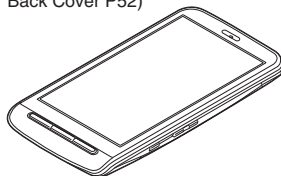
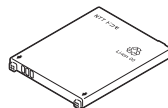
Adobe® Flash® Playerのエンドユーザ・ライセンス契約

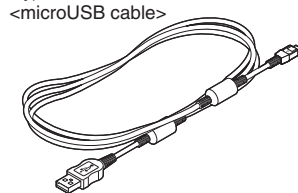
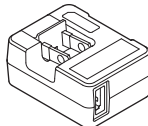
以下のエンドユーザ･ライセンス契約をご参照ください。
(i) a prohibition against distribution and copying, (ii) a prohibition against modifications and derivative works, (iii) a prohibition against decompiling, reverse engineering, disassembling, and otherwise reducing the software to a human-perceivable form, (iv) a provision indicating ownership of the Software by Panasonic and its suppliers, (v) a disclaimer of indirect, special, incidental, punitive, and consequential damages, and (vi) other industry standard disclaimers and limitations, including, as applicable: a disclaimer of all applicable statutory warranties, to the full extent allowed by law, a limitation of liability not to exceed the price of this Product, and/or a provision that the end user's sole remedy shall be a right of return and refund, if any, from Panasonic or its Distributors.

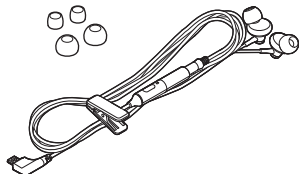
Quick Manual (English)

The latest information of this manual can be downloaded from the DOCOMO website.
Further, the detailed English manual can be downloaded from the following URL:
http://www.nttdocomo.co.jp/english/support/trouble/manual/download/index.html

Accessories/Samples

- P-07C (with warranty and Back Cover P52)

- Battery Pack P24

- AC Adapter Cable P01 (with warranty)
  <AC adapter>

<microUSB cable>

- Quick Start Guide (in Japanese)

- Stereo Headset with Microphone*1 (with manual)

- microSD card (2 GB)*1*2 (with manual)

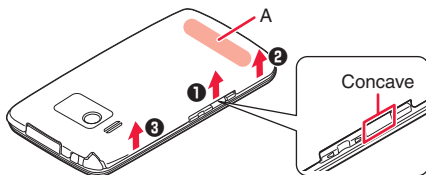
*1 Complimentary sample

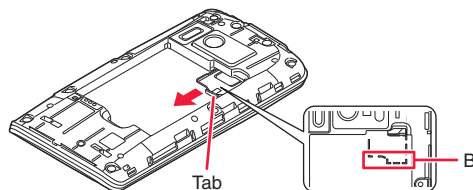
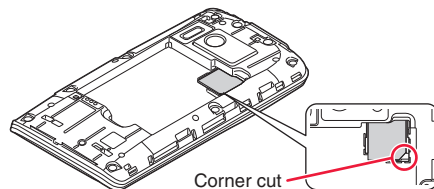
*2 Installed in the FOMA terminal at the time of purchase

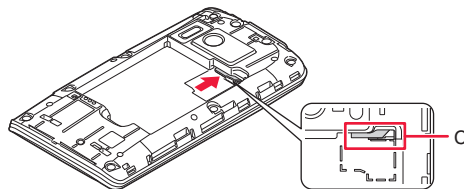
- The P-07C is compatible with 3G, GSM/GPRS and wireless LAN systems.
- With your FOMA terminal, use the battery pack and AC adapter cable specified by NTT DOCOMO, INC. Otherwise, fire, burns, injury or electric shock may result.
- Do not dispose of battery packs with ordinary waste. The battery pack may catch fire or damage the environment. After insulating the battery terminal with tape, take the unneeded battery pack to a docomo Shop, or follow the instructions of local authorities in charge of collecting used batteries.

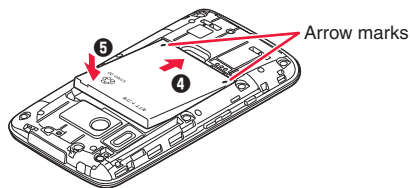
Installation of UIM and Battery Pack

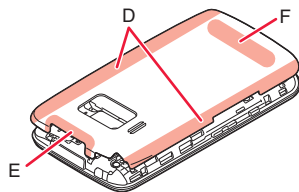
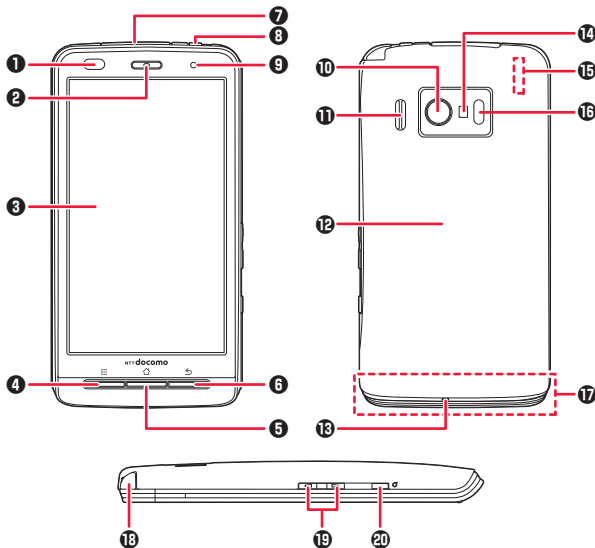
1 Remove the back cover

- Putting your finger in the concave, lift ❶ first and ❷ to detach part A, and then lift ❸ to remove the cover.

2 Draw out the tray

- Pull the tab to line B.

3 Place the UIM on the tray with the gold IC part facing down

4 Insert the tray

- Push the tray all the way in so that the tab is aligned with line C.

5 Attach the battery pack

- The arrow marks should be facing up.

6 Attach the back cover

- Press D, then E and F to close the cover firmly.

Part Names

❶Light sensor/Proximity sensor
❷Earpiece
❸Display (Touch panel)
❹ ☰ Menu key
❺ ⌂ Home key
❻ ↩ Back key
❼Connector terminal
❽ ⏻ Power key
❾Call/Charging indicator
❿Camera
⓫Speaker
⓬Back cover
⓭Microphone
⓮Flash
⓯GPS antenna
⓰Infrared data port
⓱FOMA antenna
⓲1Seg antenna
⓳ ▲/▼ Volume keys
⓴ 🔍 Search key

Basic Operations

Power On/Off

Power On

1 Press and hold ⏻ for at least two seconds

Power Off

1 Press and hold ⏻ until Phone options menu appears

2 [Power off]▶[OK]

Locking/Unlocking the screen

Locking the screen

1 Press ⏻

Unlocking the screen

1 Press ⏻ or ⌂ ▶Trace the guide from right or left side of the screen

Switching to English Display

1 Home screen ▶ ☰ ▶ [設定] ▶ [言語とキーボード] ▶ [言語を選択] ▶ [English (United States)]

Checking My Phone Number

1 Home screen ▶ ☰ ▶ [Settings] ▶ [About phone] ▶ [Status]

Making a Call

1 Home screen ▶ [Phone] ▶ Enter a phone number ▶ 📞

Answering a Call

1 A call comes in ▶ Drag 📞 to the extreme right

索引

ア

アイコン 24
アカウントと同期 52
アクセスポイント 41
　初期設定にリセット 42
　設定 41
アプリケーション 28, 52
アプリケーション画面 28
暗証番号 37
エリアメール 56
音 50
音声入出力 53

カ

学習辞書リセット 37
壁紙 28
カメラ 57
　撮影画面を表示 57
　静止画を撮影する 57
　動画を撮影する 57
画面の明るさ 51
画面の自動回転 51
画面ロックの設定 40
画面ロック用PIN／パスワード 38
緊急通報 46
言語とキーボード 53
現在地情報とセキュリティ 51
検索 28

サ

充電 21
初期設定 41
ショートカット 27
スクロール 23
ステータスアイコン 25
ストレージ 53
スリープモード 22
静止画
　撮影 57
　表示 57
設定 49
ソフトウェア更新 63

タ

タスクビューア 33
タッチスピードセレクター 27
タッチ操作音 51
タッチパネル 23
タップ 23
縦／横画面表示の切り替え 24
ダブルタップ 23
端末情報 54
端末パスワード 38
端末パスワード設定 40, 51
着信音 51
通知アイコン 24
通知音 51
通知パネル 26
通話設定 50
通話履歴 48
提供元不明のアプリ 52
テンキーパッド 35
電源ON／OFF 22
電池パック 20
　寿命 21
　取り付け／取り外し 20
電話帳 48
　確認 48
　登録 48
電話帳コピーツール 43
電話を受ける 46
電話をかける 46
動画
　再生 57
　撮影 57
ドコモマーケット 34
ドコモUIMカード 18
　取り付け／取り外し 18
ドラッグ 23

ナ

日本語ユーザー辞書 37
ネットワーク暗証番号 38

ハ

バイブ 50
バックライト消灯 51
ピクチャアルバム 57
日付と時刻 54
表示 51
ピンチ 24
ブックマーク 56
プライバシー 52
ブラウザ 56
フリック 23
ホーム画面 27

マ

マナーモード 46
ミュージックプレーヤー 57
無線とネットワーク 49
文字入力 35
　絵文字入力 36
　コピー／切り取り／貼り付け 37

ヤ

ユーザー補助 54

ラ

ロック画面を解除 23
ロングタッチ 23

ワ

ワンセグ 58
　チャンネル設定 58

英数字

Androidキーボード 37
Androidマーケット 33
Eメール 55
Gmail 55
microSDカード 19
　取り付け／取り外し 19
　メモリ空き容量 53
mopera U 42
New!アイコン 27
PINロック解除コード（PUK） 39
PIN1／PIN2コード 38
QWERTYキーパッド 35
SIMカードロック設定 39
SMS 55
spモード 42
spモードメール 55
Wi-Fi 44

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo（http://www.mydocomo.com/） ▶ 各種お申込・お手続き
※ ご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（電源OFF）
電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

●バイブ（☞P.50）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

●マナーモード（☞P.46）
着信音・タッチ操作音などFOMA端末から鳴る音を消します。
※ただし、シャッター音は消せません。

そのほかにも、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先
<ドコモ インフォメーションセンター>

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) **151** (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 午前9：00～午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) **113** (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間 24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障·アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
<ドコモ インフォメーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***(無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※P-07Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。
（「+」は[0]をロングタッチします。）

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
<ネットワークオペレーションセンター>(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***(無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※P-07Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。
（「+」は[0]をロングタッチします。）

一般電話などからの場合
<ユニバーサルナンバー>

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口にご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　パナソニック モバイルコミュニケーションズ株式会社

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

Li-ion 00

'11.8 (第2.2版)
3TR100381BAA
A0611-2